大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(令和3年8月分【埋立中調査①】)

【廃棄物処分場周辺 水質】

【廃棄物搬入施設周辺 大気質・交通量・悪臭】

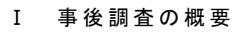
国土交通省 近畿地方整備局

大 阪 港 湾 局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I	事後調査の概要	
	1. 調査概要	I - 1
	2. 工事の実施状況	I - 11
	3. 調査結果の概要	I - 12
Π	事後調査結果	
	1. 水質 (廃棄物処分場周辺) ······	Ⅱ- 1
	2. 大気質 (廃棄物搬入施設周辺) ······	П- 11
	3. 交通量(廃棄物搬入施設周辺)	П- 20
	4. 悪臭 (廃棄物処分場周辺) ·············	II - 26



1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和3 年8月の事後調査の概要は表-1に、調査地点の位置は図-1に示すとおりである。

表一1(1)事後調査の概要(廃棄物処分場の埋立てに係る調査 大気質)

調査項目	調査範囲·地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂)	1点(南港中央公園局)	8月1日~31日	通年連続
窒素酸化物(NO₂、NO)			
浮遊粒子状物質(SPM)			
風向・風速			

表-1(2) 事後調査の概要 (廃棄物処分場の埋立に係る調査 水質 (一般項目))

調査項目	調査範囲·地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目	5点×2層	8月3日	1回/月
水素イオン濃度(pH)	[1, 2, 3, 4, 5]		
化学的酸素要求量(COD)	上層:海面下1m		
溶存酸素量(DO)	下層:海底面上2m		
全窒素(T-N)			
全燐(T-P)			
●その他の項目			
透明度			
水温			
塩分			
濁度			
浮遊物質量(SS)			
クロロフィルa			

表一1(3) 事後調査の概要 (廃棄物処分場の埋立に係る調査 水質 (放流水、内水及び護岸外周(1))

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
濁度	放流水 1点	8月1日~31日	連続測定
水温			
水素イオン濃度(pH)			
化学的酸素要求量(COD)			
溶存酸素量(DO)			
全窒素(T-N)※		全窒素臨時調査※ 6月18日以降	
浮遊物質量(SS)	放流水 1点	8月3日、10日、	1回/週
不揮発性浮遊物質量(FSS)	内 水 1点	17日、24日、31日	
水素イオン濃度(pH)	—— (処理原水)	8月10日	1回/月
化学的酸素要求量(COD)			
全窒素(T-N)		全窒素臨時調査※ 8月3日、17日、 24日、31日	
全燐(T-P)		8月10日	4回/年
n- ヘキサン抽出物質			(5月、8月、11月、2月)
大腸菌群数			
透明度	護岸外周 3点×2層	8月3日	4回/年
水温	(護岸から30m)		(5月、8月、11月、2月)
塩分	[19, 20, 21]		
浮遊物質量(SS)	上層:海面下1m		
不揮発性浮遊物質量(FSS)	下層:海底面上2m		
水素イオン濃度(pH)			
化学的酸素要求量(COD)			
溶存酸素量(DO)			
全窒素(T-N)	全窒素臨時調査※ 臨時調査地点1(護岸から30m) 臨時調査地点2(護岸から150m (バックグラウンドとして地点20)))	
全燐(T-P)			
n- ヘキサン抽出物質	n- ヘキサン抽出物質は上層のみ調査		
大腸菌群数	大腸菌群数は上層のみ調査		

※内水位が上昇していることから、今後の台風接近時に高波による越波が発生した場合にさらに内水位が大きく上昇し、処分場内から内水が流出することがないよう、内水位を下げるため、6月18日から緊急放流を実施した。緊急放流では全窒素のみ管理目標値(30mg/L)を超えるが、廃棄物処理法に基づく放流水の水質基準を満足する濃度(60mg/L)以下及び同法上の計画に定めた負荷量(0.243t/日)以下となるよう放流を行った。これに伴い、環境監視を強化するため、放流水、内水及び護岸外周(地点20、放流口から30m地点及び150m地点)において全窒素(T-N)の臨時調査を実施した。

表一1(4) 事後調査の概要(廃棄物処分場の埋立に係る調査 水質(放流水、内水及び護岸外周(2))

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●健康項目等	放流水 1点	放流水、内水	放流水、内水
カドミウム	内 水 1点	8月10日	4回/年
全シアン	(処理原水)		(5月、8月、11月、2月)
鉛			
六価クロム	護岸外周 3点×2層	護岸外周	護岸外周
砒素	(護岸から30m)	8月3日	4回/年
総水銀	[19, 20, 21]		(5月、8月、11月、2月)
アルキル水銀	上層:海面下1m		
РСВ	下層∶海底面上2m		
ジクロロメタン			
四塩化炭素			
1,2 - ジクロロエタン			
1,1-ジクロロエチレン			
シス-1,2-ジクロロエチレン			
1,1,1-トリクロロエタン			
1,1,2-トリクロロエタン			
トリクロロエチレン			
テトラクロロエチレン			
1,3 - ジクロロプロペン			
チウラム			
シマジン			
チオベンカルブ			
ベンゼン			
セレン			
フェノール類			
銅			
亜鉛			
溶解性鉄			
溶解性マンガン			
全クロム			
陰イオン界面活性剤			
有機燐			
ほう素			
ふっ素			
アンモニア等(アンモニア、アンモニウム化合物、 亜硝酸化合物及び硝酸化合物)			
1,4-ジオキサン			
クロロエチレン	 クロロエチレン、1,2-ジクロロエチレンは護		
1,2-ジクロロエチレン	岸外周のみ調査		
ダイオキシン類	ダイオキシン類は上層のみ調査	放流水、内水	放流水 4回/年
		8月10日	(5月、8月、11月、2月)
			内 水 2回/年
			(8月、2月)
		護岸外周	護岸外周 1回/年
		8月3日	(8月)

表一1(5) 事後調査の概要 (廃棄物処分場の埋立に係る調査 水質 (処分場周辺))

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
透明度	6点(護岸から500m)×2層	8月3日	4回/年
水温	【13, 14, 15, 16, 17, 18】		(5月、8月、11月、2月)
塩分	上層:海面下1m		
	下層:海底面上2m		
浮遊物質量(SS)			
不揮発性浮遊物質量(FSS)			
水素イオン濃度(pH)			
化学的酸素要求量(COD)			
溶存酸素量(DO)			
全窒素(T-N)			
全燐(T-P)			
クロロフィルa			
n- ヘキサン抽出物質	┃ ┃n- ヘキサン抽出物質は上層のみ調査		
大腸菌群数	大腸菌群数は上層のみ調査		
カドミウム		8月3日	2回/年
全シアン			(8月、2月)
 鉛			
六価クロム			
- 			
総水銀			
アルキル水銀			
PCB			
ジクロロメタン			
四塩化炭素			
1,2-ジクロロエタン			
1,1-ジクロロエチレン			
シス-1,2-ジクロロエチレン			
1,1,1-トリクロロエタン			
1,1,2-トリクロロエタン			
トリクロロエチレン			
テトラクロロエチレン			
1,3-ジクロロプロペン			
チウラム			
シマジン			
チオベンカルブ			
ベンゼン			
セレン			
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素			
フェノール類			
銅			
亜鉛			
溶解性鉄			
溶解性マンガン			
全クロム			
陰イオン界面活性剤			
有機燐			
1,4-ジオキサン			

表-1(6) 事後調査の概要 (廃棄物処分場の埋立に係る調査 底質 (一般項目))

調査項目	調査範囲·地点	調査期間等	調査頻度
粒度組成	4点(表層土)	8月6日	2回/年
含水率	[2, 3, 4, 5]		(8月、2月)
強熱減量			
化学的酸素要求量(COD)			
硫化物			
全窒素(T-N)			
全燐(T-P)			
酸化還元電位			

表-1(7) 事後調査の概要 (廃棄物処分場の埋立に係る調査 底質 (処分場周辺))

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●一般項目	1点(表層土)	8月6日	2回/年
粒度組成	[15]		(8月、2月)
含水率			
強熱減量			
化学的酸素要求量(COD)			
硫化物			
全窒素(T-N)			
全燐(T-P)			
酸化還元電位			
●有害項目<含有量試験>			
アルキル水銀			
総水銀			
カドミウム			
鉛			
有機燐			
六価クロム			
砒素			
シアン			
РСВ			
銅			
亜鉛			
ふっ化物			
トリクロロエチレン			
テトラクロロエチレン			
ベリリウム			
クロム			
ニッケル			
バナジウム			
有機塩素化合物 ジクロロメタン			
ロ塩化炭素 四塩化炭素			
1,2-ジクロロエタン			
1,1-ジクロロエチレン			
シス-1,2-ジクロロエチレン			
1,1,1-トリクロロエタン			
1,1,2-トリクロロエタン			
1,3-ジクロロプロペン			
チウラム			
シマジン			
チオベンカルブ			
ベンゼン			
セレン			
ダイオキシン類			
1,4-ジオキサン			

表-1(8) 事後調査の概要 (廃棄物処分場の埋立に係る調査 騒音・低周波空気振動)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
騒音レベル	1点(大阪南港野鳥園)		2回/年
低周波空気振動音圧レベル			(4月、10月)

表-1(9) 事後調査の概要 (廃棄物処分場の埋立に係る調査 悪臭)

調査項目	調査範囲·地点	調査期間等	調査頻度
臭気強度	1点(大阪南港野鳥園)	8月23日	2回/年
臭気指数			(8月、9月)
特定悪臭物質濃度			

表一1(10) 事後調査の概要(廃棄物搬入施設に係る調査 大気質、騒音、振動、交通量、悪臭)

	調査項目	調査範囲·地点	調査期間等	調査頻度
大気質	二酸化硫黄(SO ₂)	搬入ルート沿道		1週間×4回/年
	窒素酸化物(NO2、NO)	大阪基地 : 2点	8月1~7日	(5月、8月、11月、2月)
	浮遊粒子状物質(SPM)	[No.2、3]	0//I / II	
	風向・風速	堺基地 : 2点	8月17~23日	
		[No.1, 2]	0810 075	
		泉大津基地 :2点	8月19~25日	
		[No.A, B]		
騒音	道路交通騒音レベル	搬入ルート沿道		2回/年
		大阪基地 :2点		(操業時間帯に実施)
		[No.2, 3]		(5月、11月)
		堺基地 :2点	_	
		[No.1, 2]		
		泉大津基地 :2点		
		[No.A、B]		
振動	道路交通振動レベル	搬入ルート沿道		2回/年
		大阪基地 : 2点		(操業時間帯に実施)
		[No.2、3]		(5月、11月)
		堺基地 :2点	_	
		[No.1, 2]		
		泉大津基地 : 2点		
		[No.A, B]		
交通量	廃棄物輸送車	搬入ルート沿道		4回/年
	一般車	大阪基地 :3点	8月2日	(操業時間帯に実施)
		[No.1, 2, 4]		(5月、8月、11月、2月)
		堺基地:4点	8月20日	
		[No.1, 2, 3, 4]	8月23日	
		泉大津基地 : 3点	0,,201	
_		[No.A, B, C]		
悪臭	臭気強度	敷地境界		2回/年
	臭気指数	大阪基地 : 2点(風上、風下)	8月24日	(6月、8月)
		[No.5, 6]		
		堺基地:2点(風上、風下)	8月24日	
		[No.5, 6]	8月23日	
		泉大津基地 : 2点(風上、風下)	0,,20 H	
		[No.D1, D2]		

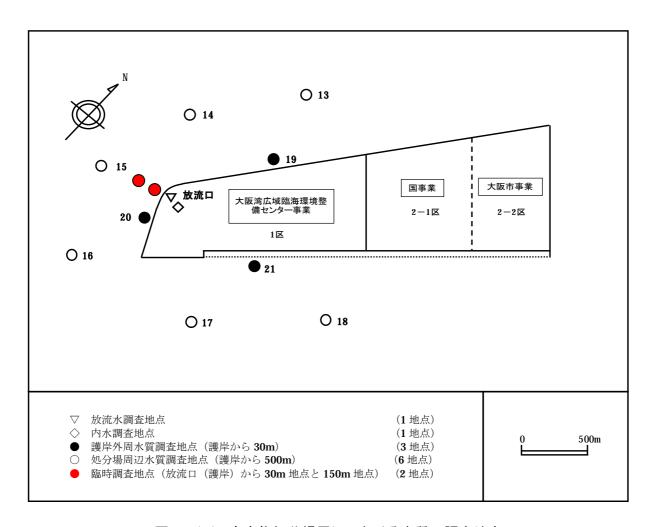


図-1(1) 廃棄物処分場周辺における水質の調査地点

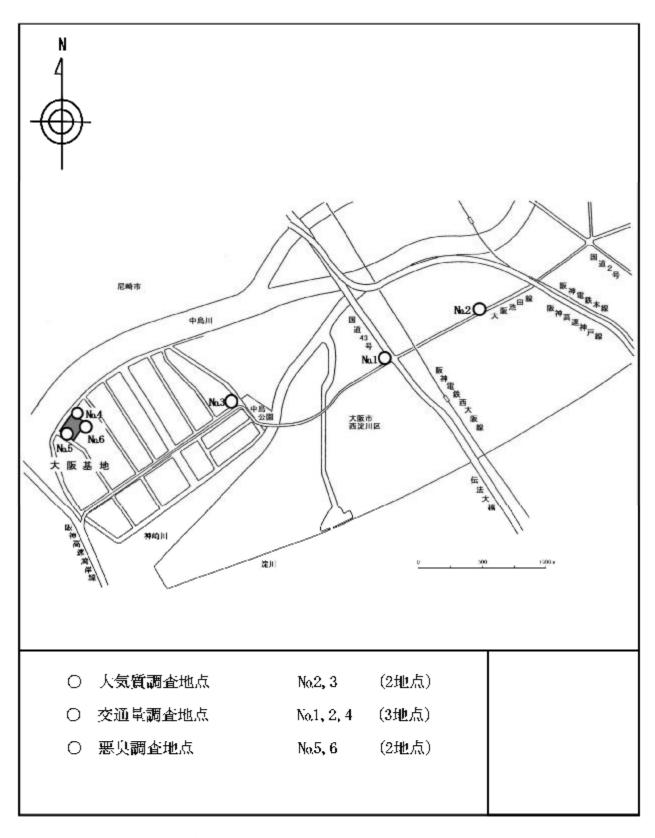


図-1(2) 廃棄物搬入施設周辺における調査地点(大阪基地) (令和3年8月)

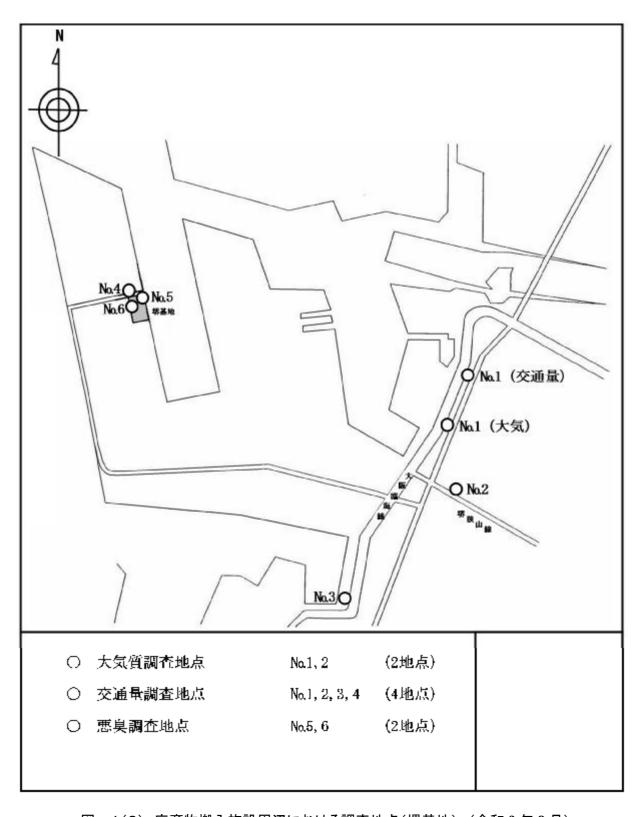


図-1(3) 廃棄物搬入施設周辺における調査地点(堺基地) (令和3年8月)

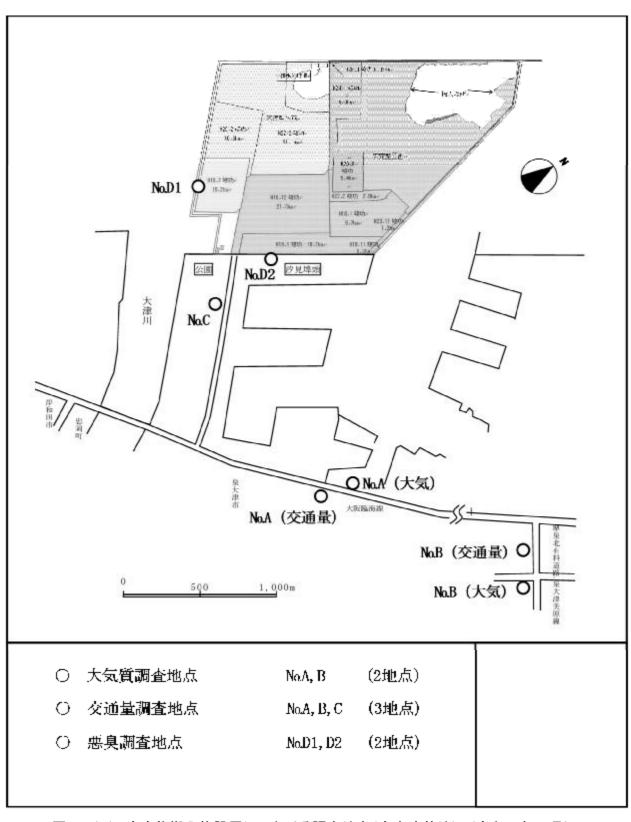
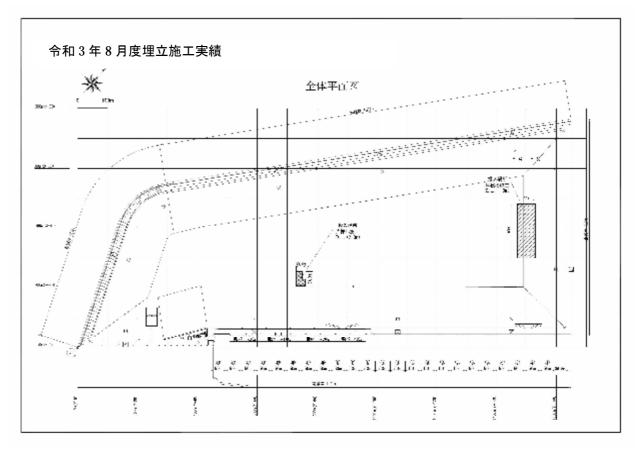


図-1(4) 廃棄物搬入施設周辺における調査地点(泉大津基地) (令和3年8月)

2. 工事の実施状況

令和3年8月の工事の実施状況は、図-2に示すとおりである。



埋立量(m³)	進捗率(%)
6,136,932	43.9

埋立容量(計画量): 13,975,000 m3

図-2 工事の実施状況 (大阪沖処分場平面図)

3. 調査結果の概要

廃棄物処分場の埋立に係る調査

(1) 大気質

令和3年8月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査①】に記載

(2) 水質

1)一般項目

令和3年8月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査①】に記載

②-1 放流水、内水及び護岸外周 [水質様式第6~10、12号]

1) 放流水(連続測定)

濁度は、1.4~2.7 度(カオリン) (平均値 1.8 度(カオリン)) の範囲にあった。

水温は、 $28.4\sim33.1$ °C(平均値 30.5°C)の範囲にあった。

pH は、 $6.4\sim6.8$ の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値及び管理目標値(5.0 以上 9.0 以下)の範囲内にあった。

COD は、 $22.9\sim27.6$ mg/L (平均値 23.7mg/L) の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値 (90mg/L) 及び管理目標値 (40mg/L) を下回っていた。

DO は、2.9~4.6mg/L (平均値 4.0mg/L) の範囲にあった。

T-N は、緊急放流に伴う臨時調査では $24.8 \sim 28.5 \text{mg/L}$ であり、緊急放流期間を通じて管理目標値(30 mg/L)及び放流水の基準値(60 mg/L)を下回るとともに、負荷量は $0.114 \text{t/H} \sim 0.146 \text{t/H}$ であり、計画に定めた負荷量(0.243 t/H)を下回っていた。

2) 放流水、内水

• 放流水

SS は、 $<1\sim1mg/L$ であり、全測定を通じて放流水の基準値(60mg/L)及び管理目標値 (50mg/L) を下回っていた。

FSS は、全て報告下限値未満(<1mg/L)であった。

pH は、**7.4** であり、放流水の基準値及び管理目標値(**5.0** 以上 **9.0** 以下)の範囲内であった。 **COD** は、**27mg/L** であり、放流水の基準値(**90mg/L**)及び管理目標値(**40mg/L**)を下回っていた。

T-N は、緊急放流に伴う臨時調査を含めて $26\sim29$ mg/L であり、緊急放流期間を通じて管理目標値(30mg/L)及び放流水の基準値(60mg/L)を下回るとともに、負荷量は 0.100t/日~0.149t/日であり、計画に定めた負荷量(0.243t/日)を下回っていた。

T-P は、0.04mg/Lであり、放流水の基準値(16mg/L、日間平均8mg/L)及び管理目標値(4mg/L)を下回っていた。

n-ヘキサン抽出物質は、報告下限値未満 (<0.5mg/L) であり、放流水の基準値及び管理目標値 (鉱油類含有量 5mg/L、動植物油脂類含有量 30mg/L) を下回っていた。

大腸菌群数は、0 個/cm³ であり、放流水の基準値及び管理目標値(日間平均 3,000 個/cm³

以下)を下回っていた。

健康項目等については、事後調査報告書(令和3年8月分【埋立中調査②】)で報告する。

内水

SS は、2~5mg/L (平均値 3mg/L) の範囲にあった。

FSS は、報告下限値未満(<1mg/L)~2mg/L(平均値 1mg/L)の範囲にあった。

pH は 7.8、COD は 30mg/L、T-N は臨時調査を含めて $30\sim35mg/L$ 、T-P は 0.05mg/L、n- $^{+}$ 1.005mg/L かけい抽出物質は報告下限値未満(<0.5mg/L)、大腸菌群数は 0 個/ cm^3 であった。

健康項目等については、事後調査報告書(令和3年8月分【埋立中調査②】)で報告する。

3) 護岸外周

7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量(SS)は、上層でいずれも 3mg/L、下層でいずれも 2mg/L であった。

イ)不揮発性浮遊物質量 (FSS)

不揮発性浮遊物質量(FSS)は上層でいずれも報告下限値未満(<1mg/L)、下層で報告下限値未満(<1mg/L) $\sim1mg/L$ の範囲にあった。

ウ) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値:7.8 以上8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は、上層で 8.5~8.7、下層で 7.9~8.7 の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っており、下層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を上回った調査結果は、上層の調査地点 19 (8.7)、調査地点 20 (8.6)、調査地点 21 (8.5)、下層の調査地点 19 (8.7)であった。廃棄物等受入前の当海域(調査地点 13 ~18)における水質調査の結果は上層で 8.0~8.7、下層で 7.8~8.3 であり、上層はこの範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられるが、下層の調査地点 19 でこの範囲を上回っていた。調査日 (8/3)は調査海域で赤潮が確認されており、植物プランクトンが光合成を行う際に消費する炭酸水素イオン (HCO_3 -)の減少に伴い水素イオン(H+)も減少することで pH 値が上昇したものであり、本事業の影響によるものではないと考えられる。

工) 化学的酸素要求量(COD)【環境基準值:3mg/L以下】

化学的酸素要求量 (COD) は、上層で 3.8~5.7mg/L、下層で 1.7~5.8mg/L の範囲にあり、 上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っており、下層では一部の調査地点におい て環境基準値を上回っていた。

環境基準値を上回った調査結果は、上層の調査地点 19 (4.0mg/L)、調査地点 20 (5.7mg/L) 及び調査地点 21 (3.8mg/L)、下層の調査地点 19 (5.8mg/L) であった。廃棄物等受入前の当海域(調査地点 13~18)における水質調査の結果は、上層で 2.1~8.1mg/L、下層で 1.5~3.3mg/L であり、上層はこの範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられるが、下層の調査地点 19 でこの範囲を上回っていた。調査日 (8/3) は調査海域で赤潮が確認

されており、護岸外周 3 地点でいずれも全燐 (T-P) の値が高く、増殖した植物プランクトンが窒素や燐を取り込んで生成した有機物の影響により COD の値が高くなったものであり、本事業の影響によるものではないと考えられる。

t) 溶存酸素量(DO)【環境基準值:5mg/L以上】

溶存酸素量 (DO) は、上層で 7.2~8.2mg/L、下層で 3.4~6.5mg/L の範囲にあり、上層で は全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では複数の調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回った調査結果は、下層の調査地点 20(4.3 mg/L)、21(3.4 mg/L) であった。廃棄物等受入前の当海域(調査地点 $13\sim18$)における水質調査の結果は、下層で $1.9\sim9.5 mg/L$ であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

カ) **全窒素** (T-N) 【環境基準値: 0.6mg/L以下】

全窒素 (T-N) は、緊急放流に伴う臨時調査を含めて上層で $0.38\sim0.58$ mg/L、下層で $0.28\sim0.42$ mg/L の範囲にあり、全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

なお、臨時調査地点 1 (放流口から 30m) は上層 0.48mg/L、下層 0.42mg/L、臨時調査地点 2 (放流口から 150m) で上層 0.47mg/L、下層 0.37mg/L であり、緊急放流開始前の調査結果 (6月2日) と比較すると、臨時調査地点 1 の下層についてはほぼ同程度であるが、臨時調査地点 1 の上層、臨時調査地点 2 の上層及び下層については上回っている。しかし、周辺海域の影響を確認するために設定した臨時調査地点 2 について、同調査日における地点 13~21 (上層: 0.38~0.63 mg/L、下層: 0.19~0.36mg/L) と比較するとほぼ同程度であることから、緊急放流による周辺海域への影響はほとんどないと考えられる。

‡) **全燐**(T-P)【環境基準値:0.05mg/L以下】

全燐 (T-P) は、上層で 0.053~0.074mg/L、下層で 0.048~0.076mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っており、下層では複数の調査地点において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を上回った調査結果は、上層の調査地点 19 (0.061mg/L)、調査地点 20 (0.074mg/L)、調査地点 21 (0.053mg/L)、下層の調査地点 20 (0.063mg/L)、調査地点 21 (0.076mg/L) であった。廃棄物等受入前の当海域(調査地点 13~18) における水質調査の結果は、上層で 0.033~0.18mg/L、下層で 0.014~0.16mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

ク) n-ヘキサン抽出物質【環境基準値:検出されないこと】

n-^キサン抽出物質は、全ての調査地点において報告下限値未満(**<0.5mg/L**)であり、環境基準に適合していた。

ケ) 大腸菌群数

大腸菌群数は、 $1.3\times10^{1}\sim2.4\times10^{2}$ MPN/100mL の範囲にあった。

2) 健康項目等

事後調査報告書(令和3年8月分【埋立中調査②】)で報告する。

②-2 処分場周辺「水質様式第 16 号]

1) 濁度

濁度は、上層で 1~3 度(カオリン)、下層で 1~5 度(カオリン)の範囲にあった。

2) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は、上層で $2\sim4$ mg/L、下層で $1\sim7$ mg/L の範囲にあった。

3) 不揮発性浮遊物質量 (FSS)

不揮発性浮遊物質量(FSS)は、上層で全て報告下限値未満(<1mg/L)、下層で報告下限値未満(<1mg/L)~5mg/L の範囲にあった。

4) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値:7.8 以上8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は、上層で 8.6~8.7、下層で 7.8~8.1 の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

環境基準値の範囲外であった調査結果は、上層の調査地点 **13~16** (**8.6**)、調査地点 **17~ 18** (**8.7**) であった。廃棄物等受入前の当海域 (調査地点 **13~18**) における水質調査の結果は、上層で **8.0~8.7** であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 化学的酸素要求量(COD) 【環境基準值:3mg/L以下】

化学的酸素要求量 (COD) は、上層で 3.7~5.9mg/L、下層で 1.2~3.8mg/L の範囲にあり、 上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っており、下層では一部の調査地点におい て環境基準値を上回っていた。

環境基準値を上回った調査結果は、上層の調査地点 13 (3.7mg/L)、調査地点 14 (5.0mg/L)、調査地点 15 (4.1mg/L)、調査地点 16 (3.8mg/L)、調査地点 17 (5.7mg/L)及び調査地点 18 (5.9mg/L)、下層の調査地点 17 (3.8mg/L)であった。廃棄物等受入前の当海域(調査地点 13~18)における水質調査の結果は、上層で 2.1~8.1mg/L、下層で 1.5~3.3mg/L であり、上層はこの範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられるが、下層の調査地点 17 でこの範囲を上回っていた。調査日 (8月3日)は調査海域で赤潮が確認されており、処分場周辺地点でいずれも全燐 (T-P)の値が高く、増殖した植物プランクトンが窒素や燐を取り込んで生成した有機物の影響により CODの値が高くなったものであり、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 溶存酸素量(DO) 【環境基準值:5mg/L以上】

溶存酸素量 (DO) は、上層で $7.4\sim9.1$ mg/L、下層で $2.4\sim5.3$ mg/L の範囲にあり、上層で

は全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では過半数の調査地点において 環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回った調査結果は、下層の調査地点 15(3.3 mg/L)、調査地点 16(2.4 mg/L)、調査地点 17(2.5 mg/L) 及び調査地点 18(2.4 mg/L) であった。廃棄物等受入前の当海域(調査地点 $13\sim18$)における水質調査の結果は、下層で $1.9\sim9.5 \text{mg/L}$ であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

7) 全窒素 (T-N) 【環境基準値: 0.6mg/L 以下】

全窒素(T-N)は、上層で $0.38\sim0.63$ mg/L、下層で $0.19\sim0.36$ mg/L の範囲にあり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を上回った調査結果は、上層の調査地点 16 (0.63mg/L) であった。廃棄物等受入前の当海域 (調査地点 $13\sim18$) における水質調査の結果は、上層で $0.40\sim1.4$ mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

8) 全燐 (T-P) 【環境基準値: 0.05mg/L以下】

全燐 (T-P) は、上層で $0.049 \sim 0.084$ mg/L、下層で $0.036 \sim 0.14$ mg/L の範囲にあり、大部分の調査地点において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を上回った調査結果は、上層の調査地点 14 (0.058mg/L) 、調査地点 15 (0.055mg/L) 、調査地点 16 (0.084mg/L) 、調査地点 17 (0.065mg/L) 及び調査地点 18 (0.070mg/L) 、下層の調査地点 15~16 (0.11mg/L) 、調査地点 17 (0.14mg/L) 及び調査地点 18 (0.12mg/L) であった。廃棄物等受入前の当海域(調査地点 13~18)における水質調査の結果は、上層で 0.033~0.18mg/L、下層で 0.014~0.16mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

9) クロロフィル a

クロロフィル a は、上層で $7.4\sim18\mu g/L$ 、下層で $0.3\sim1.0\mu g/L$ の範囲にあった。

10) n- ヘキサン抽出物質【環境基準値:検出されないこと】

 \mathbf{n} -^キサン抽出物質は、全ての調査地点において報告下限値未満(< $\mathbf{0.5mg/L}$)であり、環境基準に適合していた。

11) 大腸菌群数

大腸菌群数は、報告下限値未満($<2.0\times10^{\circ}$ MPN/100mL) \sim 7. $9\times10^{\circ}$ MPN/100mL の範囲にあった。

12) カドミウム等

事後調査報告書(令和3年8月分【埋立中調査②】)で報告する。

(3) 底質

1) 一般項目

事後調査報告書(令和3年8月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査②】)で報告する。

2) 処分場周辺

事後調査報告書(令和3年8月分【埋立中調査②】)で報告する。

(4) 騒音・低周波空気振動

8月は実施せず。

(5)悪臭

事後調査報告書(令和3年8月分【埋立中調査②】)で報告する。

廃棄物搬入施設に係る調査

(1) **大気質** 「大気質様式第 9~16 号]

1) 大阪基地

ア) 大阪池田線沿道の測定点 (No.2)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は東北東であり、平均風速は 1.8m/sec であった。

イ) 中島公園近傍の測定点 (No.3)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は東であり、平均風速は 2.6m/sec であった。

2) 堺基地

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No.1)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は南南東であり、平均風速は 1.2m/sec であった。

イ) 堺狭山線沿道の測定点(No.2)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は西南西であり、平均風速は 0.7m/sec であった。

3) 泉大津基地

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. A)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は南西であり、平均風速は 1.9m/sec であった。

イ) 泉大津美原線沿道の測定点 (No. B)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は南西であり、平均風速は 1.2m/sec であった。

(2) 騒音•振動

8月は実施せず。

(3) **交通量** [交通量様式第1~2号]

1) 大阪基地

ア) 大阪池田線沿道の測定点 (No.1)

時間交通量は1,077~1,326台、廃棄物輸送車の時間交通量は0~8台で推移し、測定日の

廃棄物輸送車総交通量は23 台/10hrで、総交通量(12,125 台/10hr)に占める割合は0.2%であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと考えられる。

イ) 大阪池田線沿道の測定点 (No.2)

時間交通量は 854~1,242 台、廃棄物輸送車の時間交通量は 0~4 台で推移し、測定日の 廃棄物輸送車総交通量は 9 台/10hr で、総交通量(10,557 台/10hr)に占める割合は 0.1% であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと 考えられる。

ウ) 大阪基地近傍の測定点 (No.4)

時間交通量は $113\sim220$ 台、廃棄物輸送車の時間交通量は $0\sim46$ 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 202 台/10hrで、総交通量(1,732 台/10hr)に占める割合は 11.7% であった。

2) 堺基地

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No.1)

時間交通量は 2,022~3,186 台、廃棄物輸送車の時間交通量は 0~6 台で推移し、測定日の 廃棄物輸送車総交通量は 24 台/10hr で、総交通量(24,198 台/10hr)に占める割合は 0.1% であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと 考えられる。

イ) 堺狭山線沿道の測定点 (No.2)

時間交通量は 1,165~1,902 台、廃棄物輸送車の時間交通量は 0~1 台で推移し、測定日の 廃棄物輸送車総交通量は 4 台/10hr で、総交通量(14,602 台/10hr)に占める割合は 0.0% であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと 考えられる。

ウ) 大阪臨海線沿道の測定点 (No.3)

時間交通量は 1,459~3,120 台、廃棄物輸送車の時間交通量は 0~3 台で推移し、測定日の 廃棄物輸送車総交通量は 15 台/10hr で、総交通量(23,541 台/10hr)に占める割合は 0.1% であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと 考えられる。

エ) 堺基地近傍の測定点 (No.4)

時間交通量と廃棄物輸送車の時間交通量はいずれも 4~68 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 269 台/9hr で、総交通量(293 台/9hr)に占める割合は 91.8%であった。

3) 泉大津基地

ア)大阪臨海線沿道の測定点(No. A)

時間交通量は 1,879~3,102 台、廃棄物輸送車の時間交通量は 0~9 台で推移し、測定日の 廃棄物輸送車総交通量は 51 台/10hr で、総交通量(22,485 台/10hr)に占める割合は 0.2% であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと 考えられる。

イ) 泉大津美原線沿道の測定点 (No. B)

時間交通量は 696~1,069 台、廃棄物輸送車の時間交通量は 0~1 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 3 台/10hr で、総交通量(7,971 台/10hr)に占める割合は 0.0%であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと考えられる。

ウ) 泉大津基地近傍の測定点(No. C)

時間交通量は $168\sim348$ 台、廃棄物輸送車の時間交通量は $0\sim2$ 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 2 台/10hr で、総交通量(2,510 台/10hr)に占める割合は 0.1%であった。

(4) 悪臭

1) 大阪基地

臭気指数は No.5 (風上)、No.6 (風下) ともに 10 未満であり、規制基準値(10)を下回っていた。また、臭気強度は両地点ともに 0 で、臭質はいずれも無臭であった。

2) 堺基地

臭気指数は No.5 (風下)、No.6 (風上) ともに 10 未満であり、規制基準値 (10) を下回っていた。また、臭気強度は両地点ともに 0 で、臭質はいずれも無臭であった。

3) 泉大津基地

臭気指数はD1(風上)、D2(風下)ともに10未満であり、規制基準値(10)を下回っていた。また、臭気強度は両地点ともに0で、臭質はいずれも無臭であった。

《参考》環境基準等(本報告関係分)

1. 環境基準

(1) 大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	 1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、 1時間値が0.20mg/m³以下であること。

(2) 水質(海域)

類型	項目	基準値
	水素イオン濃度 (pH)	7.8 以上 8.3 以下
l p	化学的酸素要求量 (COD)	3mg/L 以下
В	溶存酸素量 (DO)	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質(油分等)	検出されないこと
Ш	全窒素 (T-N)	0.6mg/L 以下
1111	全燐 (T-P)	0.05mg/L 以下

- 注)1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-^キサン抽出物質の基準値は日間平均値、全 窒素及び全燐の基準値は年間平均値である。
 - 2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。 公共用水域における環境基準 (BOD 又は COD) の評価方法について (昭和 52 年環水管 52 号)
 - (1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が 75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。 なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75% 水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ $0.75 \times n$ 番目 (nは日間平均値のデータ数)のデータ値をもって75%水質値 $(0.75 \times n$ 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる)とする。

- (2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について 環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と 同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち 75%以上のデータが基準値を満足している基 準点を適合しているものと判断する。
- (3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断 方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内の全ての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

(3) 騒音(道路に面する地域)

廃棄物	測定地点	用途	地域	騒音に係る 環境基準値 (dB)	
搬入施設	例足地点	地域	区分	区域 区分	基準
大阪	No.2 (大阪池田線沿道)	準住居	幹線 道路 (4)	特例	70
基地	No.3 (中島公園近傍)	第 1 種 住居	(2)	В	65
堺基	No.1 (大阪臨海線沿道)	第 1 種 住居	幹線 道路 (6)	特例	70
地	No.2 (堺狭山線沿道)	近隣商業	幹線 道路 (4)	特例	70
泉 大 津	No.A (大阪臨海線沿道)	準工業	幹線 道路 (6)	特例	70
基地	No.B (泉大津美原線沿道)	準工業	幹線 道路 (4)	特例	70

- 注:1. 上表の環境基準は、いずれも昼間の時間の区分に係るものである。
 - (昼間) 騒音に係る環境基準 : 午前6時から午後10時まで
 - 2. 地域区分の欄の「幹線道路」は「道路に面する地域」のうち、「幹線交通を担う道路に 近接する空間」のことである。 () 内は面する道路の車線数である。
 - 3. 区域区分は以下のとおりである。
 - 幹線道路を担う道路に近接する空間は特例
 - B地域(第1種住居地域)のうち2車線以上の車線を有する道路に面する地域
 - 4. 騒音に係る環境基準は L_{Aeq} によるものである。

2. 規制基準値等

(1) 水質(放流水)

処分場	項目	基準値	管理目標値
	水素イオン濃度 (pH)	5.0 以上 9.0 以下	同左
管	化学的酸素要求量 (COD)	90mg/L 以下	40mg/L 以下
理型	浮遊物質量 (SS)	60mg/L 以下	50mg/L 以下
最	全窒素 (T-N)	120mg/L(日間平均 60mg/L)以下	30mg/L 以下
終処	全 烯 (T-P)	16mg/L (日間平均 8mg/L)以下	4mg/L 以下
分場	ノルマルヘキサン抽出物質 含有量(n-ヘキサン抽出物質)	鉱油類含有量 : 5mg/L 以下動植物油脂類含有量:30mg/L 以下	同左
	大腸菌群数	日間平均 3000 個/cm³以下	同左

- 注) 1. 放流水の基準値は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令 別表第一より抜粋
 - 2. 管理目標値は、事後調査計画における調査結果の評価や対策を実施するために定めたもの。

(2) 騒音・振動 (要請限度)

廃棄物	测字批片	用途 地域 _		自動車騒音 ⁶		限度	要請限度	
搬入施設			区域 区分	限度	区域 区分	限度		
大阪	No.2 (大阪池田線沿道)	準住居	幹線 道路 (4)	b	75	第1種	65	
基地	No.3 (中島公園近傍)	第 1 種 住居	(2)	ט	73	分工生	0.5	
堺基	No.1 (大阪臨海線沿道)	第 1 種 住居	幹線 道路 (6)	b	75	第1種	65	
地地	No.2 (堺狭山線沿道)	近隣 商業	幹線 道路 (4)	С	73	第2種	70	
泉大	No.A (大阪臨海線沿道)	準工業	幹線 道路 (6)	С	75	第2種	70	
津 基 地	No.B (泉大津美原線沿道)	準工業	幹線 道路 (4)	С	75	第2種	70	

注:1. 上表の環境基準及び要請限度は、いずれも昼間の時間の区分に係るものである。

(昼間) 自動車騒音の要請限度 : 午前6時から午後10時まで

道路交通振動の要請限度 : 午前6時から午後9時まで

- 2. 地域区分の欄の「幹線道路」は「道路に面する地域」のうち、「幹線交通を担う道路に近接する空間」の ことである。 () 内は面する道路の車線数である。
- 3. 区域区分は以下のとおりである。

(自動車騒音の要請限度) b 区域 (第1種住居地域、準住居地域) のうち車線を有する道路に面する区域 c 区域 (準工業地域) のうち車線を有する道路に面する区域

(道路交通振動の要請限度) 第1種住居地域、準住居地域は第1種区域

近隣商業地域、準工業地域は第2種区域

4. 道路交通騒音の要請限度は L_{Aeq} 、道路交通振動の要請限度は L_{10} によるものである。

3. 廃棄物等受入前調査結果 (平成 20 年 5, 8, 11 月、平成 21 年 2, 5, 8 月・水質 (処分場周辺))

		廃棄物等受			
区分		(平成 20 年 5,8,11 月、平成 21 年 2,5,8 月)			
		処分場周辺(調査地点 13~18)			
		最小値 ~ 最大値	平均値		
		(m/n)	(m/n)		
水素イオン濃度	上層	$8.0 \sim 8.7 \ (19/36)$	_		
(pH) [-]	下層	$7.8 \sim 8.3 \ (0/36)$	_		
		$2.1 \sim 8.1$	4.3 ~ 5.8		
化学的酸素要求量	上層	(26/36)	(6/6)		
(COD) [mg/L]	下層	1.5 \sim 3.3	2.4 \sim 3.0		
· , , , ,	/官	(3/36)	(0/6)		
次去歌 丰 目	上層	7.5 \sim 12	9.1 \sim 9.8		
溶存酸素量	/B	(0/36)			
(DO) [mg/L]	下層	$1.9 \sim 9.5 \ (9/36)$	5.8 ~ 7.0		
n-ヘキサン抽出物質		<0.5 ~ <0.5	<0.5 ~ <0.5		
[mg/L]	上層	(0/36)	V0.0		
全窒素	上層	0.40 ~ 1.4	0.65 ~ 0.92		
		0.10	(6/6)		
$ (T-N) \qquad [mg/L] $	下層	$0.18 \sim 0.79$	$0.32 \sim 0.44 \ (0/6)$		
	上屋	$0.033 \sim 0.18$	$0.067 \sim 0.097$		
全燐	上層		(6/6)		
(T-P) [mg/L]	下層	0.014 ~ 0.16	$0.034 \sim 0.075 \ (4/6)$		

注) 1.「最大~最小」の値は、調査地点 13~18 におけるそれぞれ全調査地点の最小値と最大値を示す。

^{2.} m:環境基準を満たしていないデータ数、n:総データ数を示す。

^{3.「}平均値」の値は、各調査地点における期間平均値の最小~最大を示す。

Ⅱ 事後調査結果

水質様式第6号

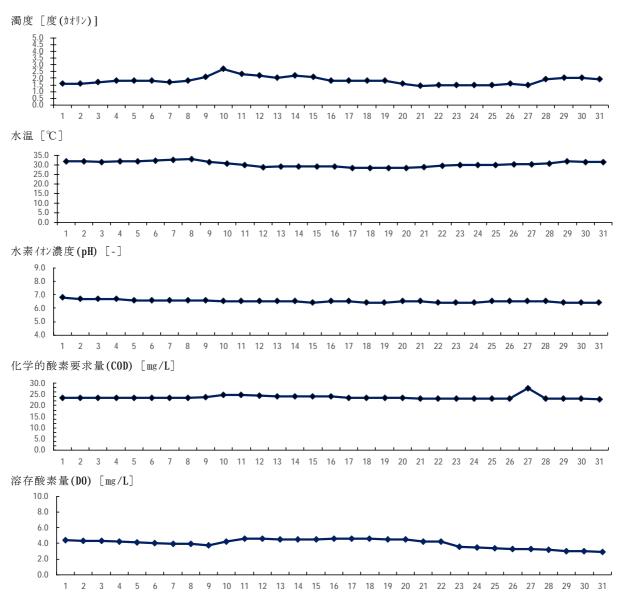
水質調査結果(放流水(連続測定:総括))[令和3年8月分]

	区分	放流水				
項目		最小值	\sim	最大値	平均値	
濁度	[度(カオリン)]	1.4	~	2.7	1.8	
水温	$[\mathcal{C}]$	28. 4	\sim	33. 1	30. 5	
рН	[-]	6.4	\sim	6.8	6. 5	
COD	[mg/L]	22. 9	~	27.6	23.7	
DO	[mg/L]	2.9	\sim	4.6	4. 0	

特記事項		

水質様式第7号

水質調査結果(放流水(連続測定))[令和3年8月分]



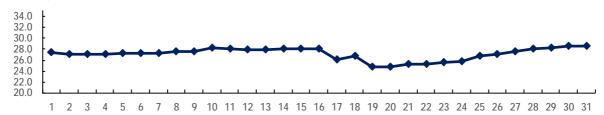
【参考】(自主検査)

T-N・T-P 連続測定器による水質調査結果(放流水)

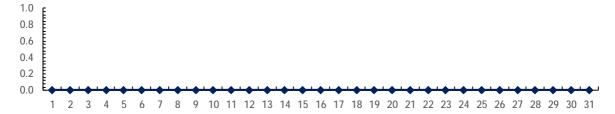
水質調査結果(放流水(連続測定))[令和3年8月分]

	区分	放流水				
項目		最小値	\sim	最大値	平均値	
全窒素	[mg/L]	24.8	\sim	28.5	27. 1	
全リン	[mg/L]	0.0	~	0.0	0.0	

全窒素(T-N) [mg/L]



全リン(T-P) [mg/L]



※なお、T-Nについては緊急放流に伴う臨時測定でもある。

水質様式第8号

水質調査結果(放流水、内水①)[令和3年8月分]

	区分		放流水		内水		
	項目	時刻	SS	FSS	時刻	SS	FSS
調査日		时刻	[mg/L]	[mg/L]		[mg/L]	[mg/L]
8/3	(火)	10:00	1	< 1	9:40	2	1
8/10	(火)	10:00	1	< 1	10:30	5	2
8/17	(火)	10:00	1	< 1	9:40	4	2
8/24	(火)	10:00	< 1	< 1	9:40	3	1
8/31	(火)	10:00	< 1	< 1	9:40	3	< 1
平均	値		1	< 1		3	1
最小	値		< 1	< 1	_	2	< 1
最大	値	_	1	< 1	_	5	2

特記事項			

水質調査結果(放流水、内水②)[令和3年8月分]

調查日:令和3年8月10日

項目	区分	放流水	内水
時刻		10:00	10: 30
рН	[-]	7.4(21°C)	7.8(20 °℃)
COD	[mg/L]	27	30
T - N	[mg/L]	29	35

特記事項 緊急放流期間 8/1(日)~8/31(火)

水質臨時調査

水質調査結果(放流水、内水)[令和3年8月分]

調查日:令和3年8月3日

		19 7 1	1 11 11 0 1 0 7 3 0 1 1
項目	区分	放流水	内水
時刻		10:00	9:40
T-N	[mg/L]	28	32

調查日:令和3年8月17日

項目	区分	放流水	内水
時刻		10:00	9:40
T - N	[mg/L]	29	35

調査日:令和3年8月24日

		17 4 7	1 1 - 1 - 2 - 1
項目	区分	放流水	内水
時刻		10:00	9:40
T - N	[mg/L]	26	31

調査日:令和3年8月31日

項目	区分	放流水	内水
時刻		10:00	9:40
T - N	[mg/L]	27	30

特記事項

緊急放流期間

8/1(目)~8/31(火)

水質様式第 10 号

水質調査結果(放流水、内水③)[令和3年8月分]

調査日:令和3年8月10日

			19-13-22-1	· 4 HO 0/110 H
項目		区分	放流水	内水
時刻			10:00	10:30
T-P		[mg/L]	0.04	0.05
n- ヘキサン抽	出物質	[mg/L]	< 0.5	< 0.5
	鉱油類含有量	[mg/L]	< 0.5	< 0.5
	動植物油脂含有量	[mg/L]	< 0.5	< 0.5
大腸菌群	数	[個/cm ³]	0	0

特記事項			

水質様式第12号

水質調査結果(護岸外周①)[令和3年8月分]

調査日:令和3年8月3日

_					1	1, 4 -	7 H · 11 / H ·	- , -, -,
項目	調査点	19	20	21	最小値	~	最大値	平均値
時刻		9: 57	11:33	12:20		-		-
透明度	[m]	2.6	1.8	1. 2	1. 2	\sim	2.6	1.9
水温		28.3	28.6	28. 6	28.3	\sim	28.6	28.5
	$[{}^{\hspace{1em} \text{\tiny $\hspace{1em}$}}\hspace{1em}]$	24.6	26. 2	23.8	23.8	\sim	26.2	24.9
塩分		26.5	26. 2	26. 7	26. 2	~	26.7	26.5
	[-]	27.8	29. 5	31. 1	27.8	\sim	31.1	29. 5
浮遊物質量(ss)	3	3	3	3	~	3	3
	[mg/L]	2	2	2	2	\sim	2	2
不揮発性浮遊物	物質量	<1	<1	<1	<1	\sim	<1	<1
(FSS)	[mg/L]	<1	<1	1	<1	\sim	1	<1
水素イオン濃原	变	8. 7	8.6	8. 5	8. 5	\sim	8.7	8.6
(pH)	[-]	8. 7	8.2	7.9	7. 9	\sim	8.7	8.3
化学的酸素要素	求量	4.0	5.7	3.8	3.8	\sim	5.7	4. 5
(COD)	[mg/L]	5.8	1.7	2.0	1.7	\sim	5.8	3. 2
	濃度	8.0	8.2	7.2	7. 2	\sim	8.2	7.8
溶存酸素量	[mg/L]	6. 5	4.3	3.4	3. 4	\sim	6.5	4.7
(DO)	飽和度	119	123	108	108	\sim	123	117
	[%]	92	63	48	48	\sim	92	68
全窒素		0.42	0.58	0.38	0.38	~	0.58	0.46
(T-N)	[mg/L]	0.36	0.30	0. 28	0. 28	\sim	0.36	0.31
全燐		0.061	0.074	0.053	0.053	~	0.074	0.063
(T-P)	[mg/L]	0.048	0.063	0.076	0.048	\sim	0.076	0.062
n-ヘキサン抽出物タ	質 [mg/L]	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	~	<0.5	<0.5
大腸菌群数[1	MPN/100mL]	2.4×10^2	1.3×10^1	4.9×10^{1}	1.3×10^{1}	\sim	2.4×10^2	1.0×10^2

注)上段:上層(海面下1m) 下段:下層(海底面上2m)

但し、n-ヘキサン抽出物質及び大腸菌群数は、上層の値を示している。

特記事項 緊急放流期間 8/1(日)~8/31(火)

水質臨時調査

水質調査結果 (護岸外周)

調查日:令和3年8月3日

項目	調査点	臨時調査地点1 (放流口から 30m)	臨時調査地点2 (放流口から 150m)	20	最小値	~	最大値	平均値
全窒素	mg/L]	0. 48 0. 42	0. 47 0. 37	0. 58 0. 30	0. 47 0. 30	~ ~	0. 58 0. 42	0. 51 0. 36

注)上段:上層(海面下1m) 下段:下層(海底面上2m)

特記事項

緊急放流期間

8/1(日)~8/31(火)

(参考) 【緊急放流開始前の調査結果】

調査日:令和3年6月2日

項目	調査点	臨時調査地点1 (放流口から 30m)	臨時調査地点2 (放流口から 150m)	20	最小値	~	最大値	平均値
全窒素		0.35	0.34	0.36	0.34	\sim	0.36	0.35
(T-N)	ng/L]	0.38	0.24	0.32	0. 24	\sim	0.38	0.31

注)上段:上層(海面下1m)

下段:下層(海底面上2m)

水質様式第 16 号

水質調査結果(処分場周辺①)[令和3年8月分]

調査日:令和3年8月3日

									H/HJ	日: 令和	0 0/10 H
項目	調査点	13	14	15	16	17	18	最小値	~	最大値	平均値
時刻		9: 26	10: 56	9: 15	11:50	12:08	12:37		_		-
透明度	[m]	1.7	2.0	1.8	1.8	1. 4	1.4	1.4	\sim	2.0	1.7
水温		28. 5	28.7	28. 3	29. 0	29. 2	29.0	28. 3	\sim	29.2	28.8
	[%]	25. 1	25.0	22.3	23.8	23. 9	23.8	22.3	\sim	25.1	24. 0
塩分		26.8	26. 9	27. 0	25. 4	26. 3	26.2	25. 4	\sim	27.0	26. 4
	[-]	31.1	31.2	31.9	30. 3	31. 5	31.1	30. 3	\sim	31.9	31. 2
濁度		1	3	1	2	3	3	1	~	3	2
	度 (カオリン)]	1	1	5	3	3	2	1	\sim	5	3
浮遊物質量		2	3	3	3	4	4	2	\sim	4	3
(SS)	[mg/L]	1	2	7	4	3	3	1	\sim	7	3
不揮発性浮遊物	物質量	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	\sim	<1	<1
(FSS)	[mg/L]	<1	2	5	3	2	2	<1	\sim	5	3
水素イオン濃原	度	8.6	8.6	8.6	8.6	8. 7	8.7	8.6	\sim	8.7	8.6
(pH)	[-]	8. 1	8. 1	7. 9	7. 9	7.8	7.9	7.8	\sim	8.1	8. 0
化学的酸素要素	求量	3.7	5.0	4. 1	3.8	5. 7	5.9	3. 7	\sim	5.9	4.7
(COD)	[mg/L]	1.6	2.3	1.2	1. 9	3. 8	2.2	1. 2	\sim	3.8	2.2
	濃 度	7.6	7.4	7.5	8.8	8. 4	9.1	7.4	\sim	9.1	8. 1
溶存酸素量	[mg/L]	5.3	5.3	3.3	2.4	2. 5	2.4	2.4	\sim	5.3	3.5
(DO)	飽和度	114	111	112	132	127	137	111	\sim	137	122
	[%]	77	77	46	34	36	34	34	\sim	77	51
全窒素		0.38	0.45	0.42	0.63	0.48	0.52	0.38	\sim	0.63	0.48
(T-N)	[mg/L]	0.19	0. 22	0.32	0. 32	0. 36	0.34	0. 19	\sim	0.36	0. 29
全燐		0.049	0.058	0.055	0.084	0.065	0.070	0.049	\sim	0.084	0.064
(T-P)	[mg/L]	0.036	0. 037	0.11	0.11	0. 14	0.12	0.036	\sim	0.14	0.092
クロロフィル	a	7.4	13	8.4	13	14	18	7.4	\sim	18	12
(chl.a)	[μ g/L]	0.7	0.3	1.0	0.3	0.4	0.5	0.3	\sim	1.0	0.5
n- ヘキサン抽出物タ	質 [mg/L]	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	\sim	<0.5	<0.5
大腸菌群数[M	MPN/100mL]	$4.0\!\times\!10^0$	<2. 0×10^{0}	$<2.0\times10^{0}$	$2.2\!\times\!10^{1}$	$7.9\!\times\!10^{1}$	$4.9\!\times\!10^{1}$	$<2.0\times10$	o ~	$7.9\!\times\!10^{1}$	2.6×10^{1}

注)	上段	:	上層	(海面下1m)
	T FIL		ᅮᇛ	(海成五 1.9~~)

下段:下層(海底面上2m) 但し、n-^キサン抽出物質及び大腸菌群数は、上層の値を示している。

特記事項			

大気質様式第9号(廃棄物搬入施設関連)

大気質測定結果総括表(大阪基地)[令和3年8月分]

項	測 定 点目	No. 2	No. 3
=	有効測定日数(日)	7	7
酸化	日平均値が0.04ppmを超えた日数(日)	0	0
硫	測定時間数 (時間)	168	168
黄	1 時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)	0	0
	有効測定日数 (日)	7	7
=	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数(目)	0	0
酸	日平均値が0.06ppmを超えた日数(日)	0	0
化室	測定時間数 (時間)	168	168
素	1 時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)	0	0
	1 時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)	0	0
浮遊	有効測定日数 (日)	7	7
粒子	日平均値が0.10mg/m³を超えた日数 (日)	0	0
状物	測定時間数 (時間)	168	168
質	1 時間値が0.20mg/m³を超えた時間数 (時間)	0	0
	備考		

大気質測定結果総括表(堺基地)[令和3年8月分]

項	測 定 点	No. 1	No. 2
=	有効測定日数 (日)	7	7
酸化	日平均値が0.04ppmを超えた日数(日)	0	0
硫	測定時間数 (時間)	168	168
黄	1 時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)	0	0
	有効測定日数 (日)	7	7
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数(日)	0	0
酸化	日平均値が0.06ppmを超えた日数(日)	0	0
室	測定時間数 (時間)	168	168
素	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)	0	0
	1 時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)	0	0
浮遊	有効測定日数 (日)	7	7
粒子	日平均値が0.10mg/m³を超えた日数 (日)	0	0
状	測定時間数 (時間)	168	168
物質	1 時間値が0.20mg/m³を超えた時間数 (時間)	0	0
	備考		

大気質測定結果総括表(泉大津基地)[令和3年8月分]

	人式貝測定結果総括衣(永入洋基地)[市/	10 + 0/1/1	
項	測 定 点目	No. A	No. B
=	有効測定日数 (日)	7	7
酸化	日平均値が0.04ppmを超えた日数(日)	0	0
化硫	測定時間数 (時間)	168	168
黄	1 時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)	0	0
	有効測定日数(日)	7	7
=	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数(日)	0	0
酸化	日平均値が0.06ppmを超えた日数(日)	0	0
化室	測定時間数 (時間)	168	168
素	1 時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)	0	0
	1 時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)	0	0
浮遊	有効測定日数 (日)	7	7
粒子	日平均値が 0.10mg/m³ を超えた日数(日)	0	0
状	測定時間数(時間)	168	168
物質	1 時間値が0.20mg/m³を超えた時間数 (時間)	0	0
	備考		

二酸化硫黄測定結果(大阪基地)[令和3年8月分]

測 定 点	No	. 2	No.	. 3
項目	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1 時間値の 最高値 (ppm)
日 1 (日) 2 (月) 3 (火)	0. 006 0. 006 0. 004		0. 007 0. 007 0. 004	0. 012 0. 010 0. 006
別 4 (水) 5 (木) 値 6 (金)	0. 004 0. 006 0. 004	0. 007 0. 011	0. 005 0. 007 0. 005	0. 008 0. 016
	0.004		0.005	0.008
測 定 時 間 (時間)	10	38	16	38
期間平均値(ppm)	0. (005	0.0	006
日平均値の最高値 (ppm)	0. (006	0.0	007
1時間値の最高値 (ppm)	0.0	011	0.0)16
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間))	()
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)	()	()

二酸化硫黄測定結果(堺基地)[令和3年8月分]

測 定 点	No	. 1	No.	No. 2	
項目	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	
日 17 (火) 18 (水) 19 (木) 別 20 (金) 21 (土) 値 22 (日) 23 (月)	0. 006 0. 006 0. 006 0. 006 0. 007 0. 006 0. 008	0. 009 0. 006 0. 008 0. 009 0. 008	0. 004 0. 003 0. 003 0. 004 0. 004 0. 003 0. 004	0. 005 0. 007 0. 004 0. 006 0. 006 0. 004 0. 007	
有 効 測 定 日 数 (日)		7	7	1	
測 定 時 間 (時間)	10	68	16	38	
期間平均値(ppm)	0. (006	0.0	004	
日平均値の最高値 (ppm)	0.008		0.004		
1時間値の最高値 (ppm)	0. 015		0.007		
1 時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)	0		0		
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)	(0	()	

二酸化硫黄測定結果(泉大津基地)[令和3年8月分]

測 定 点	No	.A	No.	В
項目	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日 19 (木) 20 (金) 21 (土) 別 22 (日) 23 (月) (佰) 24 (火)	0. 003 0. 003 0. 004 0. 003 0. 004 0. 003	0. 006 0. 007 0. 003 0. 005	0. 003 0. 003 0. 002 0. 001 0. 003 0. 001	0. 004 0. 005 0. 003 0. 002 0. 044 0. 004
値	0.004			0.001
測 定 時 間 (時間)		68		38
期間平均値(ppm)	0. (003	0. (002
日平均値の最高値 (ppm)	0. (004	0.0	003
1時間値の最高値 (ppm)	0. 007		0.044	
1 時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	()
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	()

大気質様式第11号(廃棄物搬入施設関連)

一酸化窒素測定結果(大阪基地)[令和3年8月分]

測 定 点	No. 2	2	No. 3		
項目	日平均値 (ppm)	1 時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	
日 1 (日) 2 (月) 3 (火) 別 4 (水) 5 (木) 値 6 (金) 7 (土)	0.001 0.004 0.005 0.004 0.004 0.006 0.005	0. 001 0. 009 0. 024 0. 014 0. 008 0. 015 0. 011	0. 002 0. 007 0. 011 0. 007 0. 008 0. 006 0. 002	0. 003 0. 018 0. 045 0. 018 0. 027 0. 026 0. 004	
有 効 測 定 日 数 (日)	7		7	1	
測 定 時 間 (時間)	168	3	16	88	
期間平均値(ppm)	0.00)4	0. (006	
日平均値の最高値 (ppm)	0.00	06	0. ()11	
1時間値の最高値 (ppm)	0.02	24	0. (045	

一酸化窒素測定結果(堺基地)[令和3年8月分]

測 定 点	No.	. 1	No. 2		
項目	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	
日 17 (火) 18 (水) 19 (木) 別 20 (金) 21 (土) 値 22 (日) 23 (月)	0. 020 0. 017 0. 007 0. 011 0. 008 0. 005 0. 026	0.012	0. 013 0. 015 0. 007 0. 008 0. 006 0. 003 0. 021	0. 049 0. 027 0. 031 0. 030 0. 013 0. 010 0. 044	
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)	16	68	16	38	
期間平均値(ppm)	0.0	013	0.0	010	
日平均値の最高値 (ppm)	0. 026 0. 021		021		
1時間値の最高値 (ppm)	0.0	099	0.0	049	

一酸化窒素測定結果(泉大津基地)[令和3年8月分]

数化至亲例及相关(水八净签地/[门相5中6万万]					
測 定 点	No.	.A	No.	В	
項目	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	
日 19 (木) 20 (金)	0. 028 0. 029	0. 070 0. 067	0. 014 0. 013	0. 025 0. 035	
別 21 (土) 22 (目)	0. 022 0. 007	0. 053 0. 023	0. 012 0. 004	0. 030 0. 008	
23 (月)	0. 022	0.060	0. 011	0.017	
值 24 (火) 25 (水)	0. 019 0. 015		0. 005 0. 004	0. 015 0. 009	
有 効 測 定 日 数 (日)	7		7	7	
測 定 時 間 (時間)	10	38	16	88	
期間平均値(ppm)	0.020 0.009		009		
日平均値の最高値 (ppm)	0. 029 0. 014)14		
1時間値の最高値 (ppm)	0.0)70	0. ()35	

二酸化窒素測定結果(大阪基地)[令和3年8月分]

測 定 点	No.		No.	.3
項目	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日 1 (日) 2 (月) 3 (火) 別 4 (水) 5 (木) 値 6 (金)	0. 012 0. 011 0. 008 0. 008 0. 011 0. 008	0. 013 0. 022	0. 006 0. 012 0. 013 0. 011 0. 014 0. 006	0. 010 0. 021 0. 023 0. 021 0. 029 0. 010
7 (土) 有 効 測 定 日 数 (日)	0.007	0.011 7	0.003	0.004
測 定 時 間 (時間)	10	68	16	38
期間平均値(ppm)	0. (009	0. ()09
日平均値の最高値 (ppm)	0. (012	0. ()14
1時間値の最高値 (ppm)	0. 022		0. 029	
1 時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)	(0	()
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数(時間)	(0	()
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)	(0	()
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)	(0	()

二酸化窒素測定結果(堺基地)[令和3年8月分]

測 定 点	No.	.1	No. 2	
項目	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1 時間値の 最高値 (ppm)
日 17 (火) 18 (水) 19 (木) 別 20 (金)	0. 013 0. 013 0. 014 0. 015	0. 020 0. 038		0.034
	0. 013 0. 014 0. 006 0. 017	0. 023 0. 013	0. 011 0. 005	0. 019 0. 012
有 効 測 定 日 数 (日)	1	7	7	7
測 定 時 間 (時間)	10	38	16	38
期間平均値(ppm)	0.0	013	0.0)10
目平均値の最高値 (ppm)	0.0	017	0.0)14
1時間値の最高値 (ppm)	0.0)39	0.0)34
1 時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)	()	()
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数(時間)	()	()
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)	()	()
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)	()	()

二酸化窒素測定結果(泉大津基地)[令和3年8月分]

——————————————————————————————————————	7+4-10/ L 13	HO 0/1//1		
測 定 点	No	. A	No.	В
項目	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日 19 (木) 20 (金) 21 (土) 別 22 (日) 23 (月) 値 24 (火) 25 (水)	0. 022 0. 019 0. 016 0. 005 0. 012 0. 007 0. 010	0. 026 0. 028 0. 011 0. 015 0. 016	0. 009 0. 020 0. 012	0. 034 0. 016 0. 046 0. 038
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7
測 定 時 間 (時間)	1	68	10	38
期 間 平 均 値 (ppm)	0.	013	0.0)15
日平均値の最高値 (ppm)	0.	022	0.0)21
1 時間値の最高値 (ppm)	0.	037	0.0)48
1 時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	()
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数(時間)		0	()
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	()
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		0	()
33				

大気質様式第13号(廃棄物搬入施設関連)

窒素酸化物(NO+NO₂)測定結果(大阪基地)[令和3年8月分]

測 定 点	No. 2			No. 3	
	日平均値	1 吐明体の	日平	均値	1 叶胆 生 の
項目	(ppm) NO ₂ /(NO+NO (%)	AK IIII III	(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	1時間値の 最高値 (ppm)
日 1 (日) 2 (月) 3 (火) 別 4 (水) 5 (木) 6 (金) 7 (+)	0. 015 73 0. 013 63 0. 012 66 0. 015 73 0. 014 57	3	0. 019 0. 024 0. 018 0. 022 0. 012	54. 2 61. 1 63. 6 50. 0	0. 011 0. 034 0. 064 0. 035 0. 056 0. 036 0. 008
有効測定日数 (日)	7			7	
測 定 時 間 (時間)	168			168	
期間平均値(ppm)	0.01	3		0.015	
日平均値の最高値 (ppm)	0.01	5		0.024	
1時間値の最高値 (ppm)	0.03	0		0.064	
期間平均値 NO 2/(NO+NO2) (%)	69.	2		60.0	

窒素酸化物(NO+NO₂)測定結果(堺基地)[令和3年8月分]

					<u>- </u>		
測 定 点		No. 1			No. 2		
	日平	均値	1 吐眼体の	日平	均値	1 吐眼体の	
項目	(ррт)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	1時間値の 最高値 (ppm)	(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	1時間値の 最高値 (ppm)	
日 17 (火) 18 (水) 19 (木) 別 20 (金) 21 (土) 値 22 (日) 23 (月)	0. 033 0. 030 0. 021 0. 027 0. 023 0. 011 0. 042	43. 3 66. 7 55. 6 60. 9 54. 5	0. 124 0. 058 0. 067 0. 084 0. 038 0. 025 0. 076	0. 023 0. 025 0. 018 0. 020 0. 017 0. 008 0. 035	60. 0 64. 7 62. 5	0. 032 0. 021	
有効測定日数 (日)		7			7		
測 定 時 間 (時間)		168			168		
期間平均値(ppm)		0.027			0.021		
日平均値の最高値 (ppm)		0.042			0.035		
1時間値の最高値 (ppm)		0.124			0.065		
期間平均値 NO 2/(NO+NO2) (%)		48. 1			47.6		

窒素酸化物(NO+NO₂)測定結果(泉大津基地)[令和3年8月分]

工水版市 13 (110	2,							
測 定 点		No. A			No. B			
	目平	均値	1 吐明 <i>体</i> の	日平	均値	1 吐明体の		
項目	NO ₂ / 最高值		1時間値の 最高値 (ppm)	(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	1時間値の 最高値 (ppm)		
日 19 (木) 20 (金)	0. 050 0. 048	39. 6	0. 089 0. 086	0. 035 0. 030	60. 0 56. 7	0. 060 0. 083		
別 21 (土) 22 (日)	0. 038 0. 012	41.7	0. 069 0. 030	0. 029 0. 013	58. 6 69. 2	0. 064 0. 022		
a (月) 值 23 (月) 24 (火) 25 (水)	0. 034 0. 027 0. 024	25. 9	0.080	0. 031 0. 017 0. 012	64. 5 70. 6 58. 3	0. 059 0. 049 0. 019		
有効測定日数 (日)		7			7			
測 定 時 間 (時間)		168			168			
期間平均値(ppm)		0.033			0.024			
日平均値の最高値 (ppm)		0.050			0.035			
1時間値の最高値 (ppm)		0.089		0. 083				
期間平均値 NO 2/(NO+NO2) (%)		39. 4			62. 5			

注:1.1日の測定時間が20時間未満であれば () 書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。 2.NO $_2/(N0+N0_2)$ の算定方法は、下記のとおりである。

日(期間)平均值NO₂/(NO+NO₂)

 $=(N0及びN0_2$ が同時測定されている時間のN02濃度のE(期間)間にわたる総和)/ $(N0 及びN0_2$ が同時測定されている時間のE(00 E(00 E(0 E(00 E(0 E(00 E(00 E(00 E(0 E

浮遊粒子状物質測定結果(大阪基地)[令和3年8月分]

<u> </u>	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	10/1/1		
測 定 点	No. 2		No.	3
項目	一个均恒 最	間値の 高値 g/m³)	日平均値 (mg/m³)	1 時間値の 最高値 (mg/m³)
日 1 (日) 2 (月) 3 (火) 別 4 (水) 5 (木) 値 6 (金) 7 (土)	0. 021 0. 026 0. 014 0. 009 0. 013 0. 009 0. 007	0. 050 0. 052 0. 042 0. 043 0. 040 0. 022 0. 019	0. 021 0. 024 0. 014 0. 011 0. 019 0. 010 0. 007	0. 032 0. 042 0. 029 0. 032 0. 038 0. 018 0. 018
有 効 測 定 日 数 (日)	7		7	
測 定 時 間 (時間)	168		16	38
期 間 平 均 値 (mg/m³)	0. 014		0.0)15
日平均値の最高値 (mg/m³)	0.026		0.0)24
1 時間値の最高値 (mg/m³)	0.052		0.0)42
1 時間値が 0.20mg/m³ を超えた時間数 (時間)	0		()
日平均値が $0.10mg/m^3$ を超えた日数 (日)	0		()

浮遊粒子状物質測定結果(堺基地)[令和3年8月分]

測 定 点	No	. 1	No.	2
項目	日平均値 (mg/m³)	1時間値の 最高値 (mg/m³)	日平均値 (mg/m³)	1時間値の 最高値 (mg/m³)
日 17 (火) 18 (水) 19 (木) 別 20 (金) 21 (土) 値 22 (日) 23 (月)	0. 010 0. 007 0. 009 0. 009 0. 013 0. 010 0. 016	0. 014 0. 018 0. 023 0. 026 0. 026	0.010	0. 024 0. 040 0. 012 0. 040 0. 039 0. 038 0. 042
有 効 測 定 日 数 (日)	,	7	7	1
測 定 時 間 (時間)	10	68	16	38
期 間 平 均 値 (mg/m³)	0. (011	0.0)11
日平均値の最高値 (mg/m^3)	0. (016	0.0)16
1 時間値の最高値 (mg/m³)	0. (035	0.0)42
1 時間値が 0.20mg/m³ を超えた時間数 (時間)	(0	()
日平均値が 0.10mg/m³ を超えた日数 (日)	(0	()

浮遊粒子状物質測定結果(泉大津基地)[令和3年8月分]

測 定 点	No.	.A	No.	В
項目	日平均値 (mg/m³)	1時間値の 最高値 (mg/m³)	日平均値 (mg/m³)	1 時間値の 最高値 (mg/m³)
日 19 (木) 20 (金) 21 (土) 別 22 (日) 23 (月) 値 24 (火) 25 (水)	0. 010 0. 008 0. 012 0. 007 0. 015 0. 008 0. 020	0. 027 0. 018 0. 030 0. 021 0. 028 0. 016 0. 040	0. 005 0. 005 0. 016 0. 010 0. 028 0. 008 0. 026	0. 024
有 効 測 定 日 数 (日)	-	7	7	1
測 定 時 間 (時間)	16	38	16	38
期 間 平 均 値 (mg/m³)	0. ()11	0.0)14
日平均値の最高値 (mg/m³)	0. ()20	0.0)28
1 時間値の最高値 (mg/m³)	0. ()40	0. 1	54
1時間値が0.20mg/m³を超えた時間数 (時間)	()	()
日平均値が 0.10mg/m³ を超えた日数 (日)	()	()

大気質様式第15号(廃棄物搬入施設関連)

気象観測結果(風向・風速)(大阪基地)[令和3年8月分]

測 定 点			No. 2				No. 3		
		風 追	ŧ	最多		風	巷	最多	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	平均	最 大	. 風 速	風向	平均	最 大 風 速		風向	
項目	風速	風速	風向		風速	風速	風向		
	(m/s)	(m/s)	16方位	16方位	(m/s)	(m/s)	16方位	16方位	
日 1 (日) 2 (月) 3 (火) 別 4 (水) 5 (木) 値 6 (金) 7 (土)	1.5 1.5 1.2 1.9 1.5 2.5 2.5	3. 8 3. 6 2. 9 3. 6 3. 5 4. 0 3. 2	SW SW	WSW WSW SW WSW W ENE ENE	2. 4 2. 6 2. 0 2. 8 2. 0 3. 1 3. 2	4. 5 5. 7 3. 5 4. 9 3. 6 4. 7 4. 3	E	WSW W ENE ENE WNW E E	
有 効 測 定 日 数 (日)			•				<u> </u>		
測 定 時 間 (時間)			168				168		
期間平均風速 (m/s)			1.8				2.6		
期間最大風速 (m/s)			4. 0				5. 7		
期間最多風向 (16方位)			ENE		E				

気象観測結果(風向・風速)(堺基地)[令和3年8月分]

測 定 点			No. 1				No. 2	
		風 返	ŧ	最多		風	巷	最多
項目	平均	最 大	. 風 速	風向	平均	最 大	. 風速	風向
項目	風速	風速	風向		風速	風速	風向	
	(m/s)	(m/s)	16方位	16方位	(m/s)	(m/s)	16方位	16方位
日 17 (火) 18 (水) 19 (木) 別 20 (金) 21 (土) 値 22 (日) 23 (月)	1. 1 1. 4 1. 1 1. 1 1. 0 1. 6 1. 1	2. 7 3. 7 2. 6 2. 0 2. 3 3. 8 1. 8		SSE SSW SE SE SSE WSW NW	0. 4 0. 7 0. 5 0. 6 0. 4 1. 3 0. 9	3. 0 2. 0 1. 3 2. 3 1. 7 3. 6 2. 4	SW, W E WSW W WSW W. WNW	E SW E ENE E WSW WNW
有効測定日数 (日)			7				7	
測 定 時 間 (時間)			168				168	
期間平均風速 (m/s)			1. 2				0. 7	
期間最大風速 (m/s)			3.8				3.6	
期間最多風向 (16方位)			SSE				WSW	

気象観測結果(風向・風速)(泉大津基地)[令和3年8月分]

測 定 点			No. A				No. B	
		風速	ŧ	最多		風 退	ŧ	最多
	平均	最 大	. 風 速	風向	平均 最大風速		. 風 速	風向
項目	風速	風速	風向		風速	風速	風向	
	(m/s)	(m/s)	16方位	16方位	(m/s)	(m/s)	16方位	16方位
日 19 (木) 20 (金) 21 (土) 別 22 (日) 23 (月) 値 24 (火) 25 (水) 有 効 測 定 日 数 (日)	1. 2 1. 4 0. 9 2. 5 1. 1 3. 1 2. 9	2. 2 2. 5 2. 5 5. 4 2. 5 6. 9 4. 8	ENE ENE ENE SW SW, WSW SW SW 7	ENE ENE ENE SW W SW	1. 0 1. 1 0. 8 1. 4 1. 0 1. 9 1. 4	1. 7 2. 2 1. 6 3. 0 2. 4 3. 7 2. 6	SSE, ESE ESE E, NNE SW N SW SW	E ESE SE SW WSW SW
測 定 時 間 (時間)			168				168	
期間平均風速 (m/s)	-		1. 9		-	-	1. 2	
期間最大風速 (m/s)			6. 9				3.7	
期間最多風向 (16方位)			SW				SW	

大気質様式第16号(廃棄物搬入施設関連)

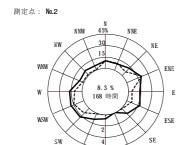
風向別出現頻度及び風向別平均風速(大阪基地)[令和3年8月分]

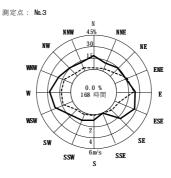
測定点:No.2

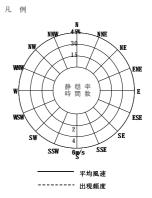
方位 項目	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	ww	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度 数	15	9	34	6	10	2	-	1	2	16	23	16	2	2	1	15	14	168
頻 度 (%)	8.9	5.4	20. 2	3. 6	6.0	1.2	-	0.6	1. 2	9. 5	13.7	9.5	1. 2	1. 2	0.6	8. 9	8. 3	-
平均風速(m/s)	1.0	1.6	2. 5	1.8	2.3	1.3	-	0.7	1. 2	2. 2	2. 4	2.2	0.7	0.9	0.7	1.2	0. 2	-

測定点:No.3

方位項目	NNE	NE	ENE	Е	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	ww	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度数	4	8	27	36	9	6	- 1	1	3	4	21	20	18	5	5	1	-	168
頻 度 (%)	2.4	4.8	16. 1	21.4	5.4	3.6	-	0.6	1.8	2. 4	12.5	11.9	10.7	3.0	3. 0	0.6	-	-
平均風速(m/s)	1.3	1.7	1. 9	3. 1	3.6	2.5	-	0. 9	1.3	1.6	3. 1	3.5	2.4	1.7	1.4	2. 1	-	-







風 配 図 (大阪基地)[令和3年8月分]

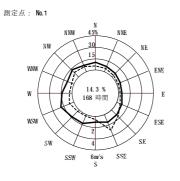
風向別出現頻度及び風向別平均風速(堺基地)[令和3年8月分]

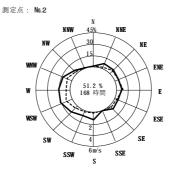
測定点: No.1

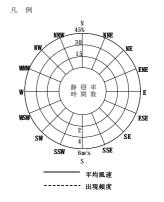
方位項目	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WWW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度 数	6	3	2	3	7	19	37	7	4	5	10	6	5	12	11	7	24	168
頻 度 (%)	3.6	1.8	1. 2	1. 8	4.2	11.3	22.0	4. 2	2. 4	3. 0	6.0	3.6	3.0	7. 1	6. 5	4. 2	14.3	-
平均風速(m/s)	0.9	0.7	0. 5	0. 5	0.9	1.2	1.4	1.0	1.7	1.8	2. 4	1.7	1. 2	1.6	1.1	1. 2	0. 2	-

測定点:No.2

方位項目	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度 数	1	7	7	13	4	4	-	1	2	6	14	9	11	3	-	-	86	168
頻 度 (%)	0.6	4. 2	4. 2	7. 7	2.4	2.4	-	0.6	1. 2	3.6	8. 3	5.4	6.5	1.8	-	-	51.2	-
平均風速(m/s)	0.8	0.8	0. 6	0. 9	0.6	0.8	-	1. 2	0. 9	1. 5	2. 1	2.0	1.6	0.6	-	-	0.1	-







風 配 図 (堺基地)[令和3年8月分]

大気質様式第16号(廃棄物搬入施設関連)

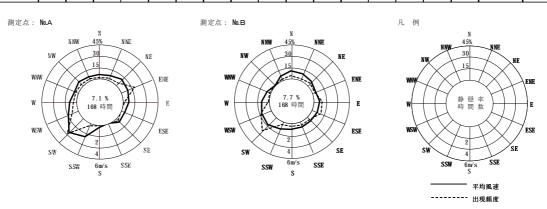
風向別出現頻度及び風向別平均風速(泉大津基地)[令和3年8月分]

測定点: No.A

方位項目	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度 数	6	8	34	5	1	7	-	1	6	48	14	7	5	6	5	3	12	168
頻 度(%)	3.6	4.8	20. 2	3. 0	0.6	4.2	-	0.6	3. 6	28.6	8. 3	4.2	3.0	3.6	3. 0	1.8	7. 1	-
平均風速(m/s)	1.0	1.6	1.4	1. 2	0.8	1.0	-	0. 5	2. 5	3. 5	1.8	1.1	0.7	1.0	0.7	0.8	0.3	-

測定点:No.B

方位項目	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度 数	4	8	5	18	21	7	7	5	5	41	22	1	1	-	3	7	13	168
頻 度 (%)	2.4	4.8	3. 0	10.7	12.5	4.2	4.2	3. 0	3. 0	24.4	13.1	0.6	0.6	-	1.8	4. 2	7. 7	-
平均風速(m/s)	1.2	1.0	0.6	1.0	1.0	0.8	0.9	1.0	1. 2	1.8	1.6	1.2	0.6	-	0.8	1.4	0. 2	_



風 配 図 (泉大津基地)[令和3年8月分]

交通量調査結果総括表(大阪基地) [令和3年8月分]

調査日時:令和3年8月2日 8時~18時

調査地点		総交通量	量 (台)		廃棄物輸送 車混入率
	大型車類	小型車類	合計	廃棄物輸送車	平此八平 (%)
No. 1	6, 430	5, 695	12, 125	23	0. 2
No. 2	3, 687	6, 870	10, 557	9	0.1
No. 3	_	_	_	_	_
No. 4	684	1, 048	1, 732	202	11.7

交通量調査結果総括表(堺基地) [令和3年8月分]

調査日時:令和3年8月20日 8時~18時

調査地点		総交通量	量 (台)		廃棄物輸送 車混入率
	大型車類	小型車類	合計	廃棄物輸送車	単此八 学 (%)
No. 1	9, 323	14, 875	24, 198	24	0. 1
No. 2	3, 496	11, 106	14, 602	4	0.0
No. 3	9, 344	14, 197	23, 541	15	0.1
No. 4	271	22	293	269	91.8

注:調査地点No.4の調査時間については、堺基地入場門の閉鎖時間が17時45分であるため、

交通量調査結果総括表(泉大津基地) [令和3年8月分]

調査日時:令和3年8月23日 8時~18時

調査地点		総交通量	量 (台)		廃棄物輸送 車混入率
	大型車類	小型車類	合計	廃棄物輸送車	平此八 学 (%)
No. A	8, 191	14, 294	22, 485	51	0. 2
No. B	3, 729	4, 242	7, 971	3	0.0
No. C	1, 130	1, 380	2, 510	2	0.1

⁸ 時から17時までの9時間とした。

交通量調査結果(大阪基地) [令和3年8月分]

調査地点: No. 1

調査日時:令和3年8月2日

<u> </u>	h4. 11.	<u>↑µ3++0</u>	月~日															
			中島	方面					歌島	僑方面					合	計		
時刻	3	を通量 ((台/時)		大型車	廃棄物	2	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物	2	定通量	(台/時)		大型車	廃棄物
	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	八王年 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	#	廃棄物 輸送車	混入率	輸送車 混入率 (%)
08:00	270	540	810	0	33.3	0.0	336	180	516	0	65.1	0.0	606	720	1, 326	0	45.7	0.0
09:00	396	330	726	0	54.5	0.0	344	234	578	2	59.5	0.3	740	564	1, 304	2	56.7	0. 2
10:00	421	336	757	1	55.6	0. 1	291	144	435	3	66.9	0.7	712	480	1, 192	4	59.7	0.3
11:00	376	330	706	4	53.3	0.6	328	120	448	4	73. 2	0.9	704	450	1, 154	8	61.0	0.7
12:00	290	246	536	2	54.1	0.4	355	288	643	1	55. 2	0. 2	645	534	1, 179	3	54.7	0.3
13:00	290	318	608	2	47.7	0.3	277	192	469	1	59. 1	0. 2	567	510	1, 077	3	52.6	0.3
14:00	372	246	618	0	60. 2	0.0	403	264	667	1	60.4	0.1	775	510	1, 285	1	60.3	0.1
15:00	330	222	552	0	59.8	0.0	324	384	708	0	45.8	0.0	654	606	1, 260	0	51.9	0.0
16:00	330	205	535	1	61.7	0. 2	313	294	607	1	51.6	0. 2	643	499	1, 142	2	56.3	0. 2
17:00	204	216	420	0	48.6	0.0	180	606	786	0	22.9	0.0	384	822	1, 206	0	31.8	0.0
8: 00 ~ 18: 00	3, 279	2, 989	6, 268	10	52.3	0. 2	3, 151	2, 706	5,857	13	53.8	0. 2	6, 430	5, 695	12, 125	23	53. 0	0. 2

交通量調査結果(大阪基地) [令和3年8月分]

調査地点: No. 2

調査日時:令和3年8月2日

<u> </u>	44 · 11 /	TH3十0	刀んH															
			中島	方面					歌島	橋方面					合	計		
時刻	3	を通量 ((台/時)		大型車	廃棄物	2	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物	2	定通量	(台/時)		大型車	廃棄物
	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	八至年 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	八至年 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	混入率(%)	輸送車 混入率 (%)
08:00	180	402	582	0	30. 9	0.0	204	360	564	0	36. 2	0.0	384	762	1, 146	0	33. 5	0.0
09:00	211	354	565	1	37. 3	0.2	204	270	474	0	43.0	0.0	415	624	1,039	1	39. 9	0.1
10:00	273	282	555	3	49. 2	0.5	187	288	475	1	39. 4	0. 2	460	570	1,030	4	44. 7	0.4
11:00	252	276	528	0	47.7	0.0	145	258	403	1	36.0	0. 2	397	534	931	1	42.6	0.1
12:00	73	144	217	1	33.6	0.5	277	360	637	1	43.5	0. 2	350	504	854	2	41.0	0.2
13:00	210	324	534	0	39. 3	0.0	187	426	613	1	30. 5	0. 2	397	750	1, 147	1	34.6	0.1
14:00	138	366	504	0	27. 4	0.0	198	522	720	0	27.5	0.0	336	888	1, 224	0	27. 5	0.0
15:00	216	438	654	0	33. 0	0.0	180	408	588	0	30.6	0.0	396	846	1, 242	0	31. 9	0.0
16:00	216	384	600	0	36.0	0.0	102	252	354	0	28.8	0.0	318	636	954	0	33. 3	0.0
17:00	150	348	498	0	30. 1	0.0	84	408	492	0	17. 1	0.0	234	756	990	0	23. 6	0.0
8: 00 ~ 18: 00	1, 919	3, 318	5, 237	5	36.6	0.1	1, 768	3, 552	5, 320	4	33. 2	0. 1	3, 687	6, 870	10, 557	9	34. 9	0.1

交通量調査結果(大阪基地) [令和3年8月分]

調査地点: No. 4

調査日時:令和3年8月2日

調査日	時: 行	<u> 和3年8</u>	月2日															
			海	方面					国道4	3号方面					合	計		
時刻	3	全通量	(台/時)		大型車	廃棄物	2	全通量	(台/時)		大型車	廃棄物	2	企通量	(台/時)		大型車	廃棄物
	大型車 類	小型車 類	***	廃棄物 輸送車	八玉年 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	***	廃棄物 輸送車	八王年 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	***	廃棄物 輸送車	八王年 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)
08:00	35	78	113	11	31.0	9. 7	18	72	90	0	20.0	0.0	53	150	203	11	26. 1	5.4
09:00	42	48	90	18	46.7	20.0	82	48	130	28	63.1	21.5	124	96	220	46	56.4	20.9
10:00	37	54	91	19	40.7	20. 9	38	42	80	20	47.5	25. 0	75	96	171	39	43.9	22.8
11:00	54	55	109	19	49.5	17. 4	49	37	86	20	57.0	23. 3	103	92	195	39	52.8	20.0
12:00	30	90	120	12	25.0	10.0	10	60	70	10	14.3	14.3	40	150	190	22	21.1	11.6
13:00	38	24	62	8	61.3	12.9	34	18	52	10	65.4	19. 2	72	42	114	18	63. 2	15.8
14:00	52	43	95	11	54.7	11.6	34	85	119	11	28.6	9. 2	86	128	214	22	40.2	10.3
15:00	20	36	56	2	35.7	3.6	15	42	57	3	26.3	5. 3	35	78	113	5	31.0	4.4
16:00	24	48	72	0	33. 3	0.0	30	30	60	0	50.0	0.0	54	78	132	0	40.9	0.0
17:00	24	30	54	0	44. 4	0.0	18	108	126	0	14. 3	0.0	42	138	180	0	23. 3	0.0
8: 00 ~ 18: 00	356	506	862	100	41. 3	11.6	328	542	870	102	37. 7	11.7	684	1, 048	1, 732	202	39. 5	11.7

交通量調査結果(堺基地) [令和3年8月分]

調査地点: No. 1

調査目時:令和3年8月20日

MHTH	1 · 13 /1 H	3牛0月2	υμ															
			大阪	方面					和歌	山方面					合	計		
時刻	3	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物	2	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物	7	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物
	大型車 類	小型車 類	灬	廃棄物 輸送車	and a second	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	#	廃棄物 輸送車	八王年 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	**	廃棄物 輸送車	八玉年 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)
08:00	408	960	1, 368	0	29.8	0.0	294	696	990	0	29.7	0.0	702	1,656	2, 358	0	29.8	0.0
09:00	510	618	1, 128	6	45. 2	0.5	414	600	1,014	0	40.8	0.0	924	1, 218	2, 142	6	43. 1	0.3
10:00	549	516	1,065	3	51.5	0.3	495	462	957	3	51.7	0.3	1,044	978	2, 022	6	51.6	0.3
11:00	517	576	1, 093	1	47.3	0.1	674	666	1,340	2	50.3	0.1	1, 191	1, 242	2, 433	3	49.0	0.1
12:00	453	510	963	3	47.0	0.3	528	606	1, 134	0	46.6	0.0	981	1, 116	2,097	3	46.8	0.1
13:00	475	654	1, 129	1	42.1	0.1	457	714	1, 171	1	39. 0	0.1	932	1, 368	2, 300	2	40.5	0.1
14:00	524	643	1, 167	3	44. 9	0.3	456	654	1, 110	0	41.1	0.0	980	1, 297	2, 277	3	43.0	0.1
15:00	516	666	1, 182	0	43.7	0.0	475	732	1, 207	1	39. 4	0.1	991	1, 398	2, 389	1	41.5	0.0
16:00	492	972	1, 464	0	33.6	0.0	510	1,020	1,530	0	33. 3	0.0	1,002	1, 992	2,994	0	33. 5	0.0
17:00	222	1, 368	1, 590	0	14.0	0.0	354	1, 242	1,596	0	22. 2	0.0	576	2, 610	3, 186	0	18. 1	0.0
8: 00 ~ 18: 00	4, 666	7, 483	12, 149	17	38. 4	0.1	4, 657	7, 392	12,049	7	38. 7	0. 1	9, 323	14, 875	24, 198	24	38. 5	0. 1

交通量調査結果(堺基地) [令和3年8月分]

調査地点: No. 2

調查日時: 令和3年8月20日

調査日	時: 行	和3年8	月 20 日															
			国道20	3号方面					阪神高	速方面					合	計		
時刻	3	全通量	(台/時)		大型車	廃棄物	2	全通量	(台/時)		大型車	廃棄物	2	定通量	(台/時)		大型車	廃棄物
	大型車 類	小型車 類	***	廃棄物 輸送車	混入率	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	盐	廃棄物 輸送車	八至年 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	**	廃棄物 輸送車	混入率	輸送車 混入率 (%)
08:00	174	336	510	0	34.1	0.0	109	636	745	1	14.6	0.1	283	972	1, 255	1	22.5	0.1
09:00	204	564	768	0	26.6	0.0	259	516	775	1	33.4	0.1	463	1, 080	1, 543	1	30.0	0.1
10:00	162	384	546	0	29. 7	0.0	282	642	924	0	30.5	0.0	444	1, 026	1, 470	0	30.2	0.0
11:00	216	582	798	0	27. 1	0.0	198	492	690	0	28.7	0.0	414	1,074	1, 488	0	27.8	0.0
12:00	204	480	684	0	29.8	0.0	216	582	798	0	27. 1	0.0	420	1, 062	1, 482	0	28.3	0.0
13:00	150	390	540	0	27.8	0.0	139	486	625	1	22.2	0. 2	289	876	1, 165	1	24.8	0.1
14:00	97	384	481	1	20.2	0. 2	198	660	858	0	23. 1	0.0	295	1, 044	1, 339	1	22.0	0.1
15:00	168	540	708	0	23.7	0.0	168	738	906	0	18.5	0.0	336	1, 278	1,614	0	20.8	0.0
16:00	198	438	636	0	31.1	0.0	84	624	708	0	11.9	0.0	282	1, 062	1, 344	0	21.0	0.0
17:00	174	954	1, 128	0	15.4	0.0	96	678	774	0	12.4	0.0	270	1, 632	1, 902	0	14. 2	0.0
8: 00 ~ 18: 00	1,747	5, 052	6, 799	1	25.7	0.0	1,749	6, 054	7, 803	3	22. 4	0.0	3, 496	11, 106	14, 602	4	23.9	0.0

交通量調査結果(堺基地) [令和3年8月分]

調査地点: No. 3

調査日時: 令和3年8月20日

- 門 11 口	調査日時: 令和3年8月20日																	
			和歌	山方面					大阪	方面			合 計					
時刻	3	交通量(台/時)				廃棄物	2	走通量	(台/時)		大型車	廃棄物	2	定通量	(台/時)		大型車	廃棄物
	大型車 類	小型車 類	灬	廃棄物 輸送車	大型車 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	**	廃棄物 輸送車	八至年 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	盐	廃棄物 輸送車	混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)
08:00	378	726	1, 104	0	34. 2	0.0	342	1, 236	1,578	0	21.7	0.0	720	1, 962	2,682	0	26.8	0.0
09:00	567	690	1, 257	3	45. 1	0.2	660	780	1,440	0	45.8	0.0	1, 227	1, 470	2,697	3	45.5	0.1
10:00	566	708	1, 274	2	44. 4	0.2	541	420	961	1	56. 3	0. 1	1, 107	1, 128	2, 235	3	49.5	0.1
11:00	753	780	1, 533	3	49. 1	0.2	414	426	840	0	49.3	0.0	1, 167	1, 206	2,373	3	49. 2	0.1
12:00	438	457	895	1	48. 9	0.1	450	510	960	0	46.9	0.0	888	967	1, 855	1	47. 9	0.1
13:00	445	432	877	1	50.7	0.1	258	324	582	0	44.3	0.0	703	756	1, 459	1	48. 2	0.1
14:00	650	618	1, 268	2	51.3	0.2	493	456	949	1	51.9	0. 1	1, 143	1,074	2, 217	3	51.6	0.1
15:00	618	660	1, 278	0	48. 4	0.0	439	774	1,213	1	36. 2	0. 1	1,057	1, 434	2, 491	1	42.4	0.0
16:00	450	1,026	1, 476	0	30. 5	0.0	402	534	936	0	42.9	0.0	852	1, 560	2, 412	0	35. 3	0.0
17:00	270	1,668	1, 938	0	13. 9	0.0	210	972	1, 182	0	17.8	0.0	480	2, 640	3, 120	0	15. 4	0.0
8:00~ 18:00	5, 135	7, 765	12, 900	12	39.8	0.1	4, 209	6, 432	10, 641	3	39. 6	0.0	9, 344	14, 197	23, 541	15	39. 7	0. 1

交通量調査結果(堺基地) [令和3年8月分]

調査地点: No. 4

調查日時: 令和3年8月20日

調査日	時: 行	和3年8	月 20 日																	
		フェニックス方面						堺方面							合 計					
時刻	交通量(台/時)				大型車	廃棄物	7	交通量((台/時)		大型車	廃棄物					廃棄物			
	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	\m	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	八王年 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	***	廃棄物 輸送車	混入家	輸送車 混入率 (%)		
08:00	17	0	17	11	100.0	64.7	0	6	6	0	0.0	0.0	17	6	23	11	73. 9	47.8		
09:00	27	1	28	28	96.4	100.0	39	1	40	40	97. 5	100.0	66	2	68	68	97. 1	100.0		
10:00	23	7	30	24	76.7	80.0	20	1	21	21	95. 2	100.0	43	8	51	45	84.3	88. 2		
11:00	21	0	21	21	100.0	100.0	19	0	19	19	100.0	100.0	40	0	40	40	100.0	100.0		
12:00	13	0	13	13	100.0	100.0	12	0	12	12	100.0	100.0	25	0	25	25	100.0	100.0		
13:00	9	0	9	9	100.0	100.0	9	0	9	9	100.0	100.0	18	0	18	18	100.0	100.0		
14:00	15	0	15	15	100.0	100.0	17	0	17	17	100.0	100.0	32	0	32	32	100.0	100.0		
15:00	11	0	11	11	100.0	100.0	15	6	21	15	71.4	71.4	26	6	32	26	81.3	81.3		
16:00	2	0	2	2	100.0	100.0	2	0	2	2	100.0	100.0	4	0	4	4	100.0	100.0		
17:00	-	-	-	-	i	-	-	-	-	-	-	ı	-	-	-	ı	-	-		
8: 00 ~ 18: 00	138	8	146	134	94. 5	91.8	133	14	147	135	90. 5	91.8	271	22	293	269	92.5	91.8		

注: 堺基地入場門の閉鎖時間が17時45分であるため、調査時間を8時から17時までの9時間とした。

交通量調査結果(泉大津基地) [令和3年8月分]

調査地点: No.A

調査日時:令和3年8月23日

		大阪方面						和歌山方面							合 計					
時刻	3	を通量	(台/時)		大型車	廃棄物	2	定通量	(台/時)		大型車	廃棄物	交通量		1 (台/時)		大型車	廃棄物		
	大型車 類	小型車 類	灬	廃棄物 輸送車	八玉年 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	**	廃棄物 輸送車	八至年 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	***	廃棄物 輸送車	八王年 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)		
08:00	420	1, 428	1,848	0	22.7	0.0	228	1, 026	1, 254	6	18. 2	0.5	648	2, 454	3, 102	6	20. 9	0.2		
09:00	399	474	873	3	45.7	0.3	413	678	1,091	5	37. 9	0.5	812	1, 152	1,964	8	41.3	0.4		
10:00	599	600	1, 199	5	50.0	0.4	458	564	1, 022	2	44. 8	0.2	1, 057	1, 164	2, 221	7	47.6	0.3		
11:00	427	510	937	1	45.6	0.1	506	498	1,004	2	50.4	0.2	933	1,008	1,941	3	48. 1	0.2		
12:00	406	595	1,001	5	40.6	0. 5	362	516	878	2	41. 2	0.2	768	1, 111	1,879	7	40.9	0.4		
13:00	446	522	968	2	46.1	0. 2	435	486	921	3	47. 2	0.3	881	1,008	1,889	5	46.6	0.3		
14:00	447	642	1,089	3	41.0	0.3	619	696	1, 315	1	47. 1	0.1	1,066	1, 338	2,404	4	44.3	0.2		
15:00	370	600	970	4	38.1	0.4	454	619	1,073	5	42. 3	0.5	824	1, 219	2,043	9	40.3	0.4		
16:00	259	642	901	1	28.7	0.1	367	924	1, 291	1	28. 4	0.1	626	1,566	2, 192	2	28.6	0.1		
17:00	246	1,020	1, 266	0	19.4	0.0	330	1, 254	1,584	0	20.8	0.0	576	2, 274	2,850	0	20. 2	0.0		
8: 00 ~ 18: 00	4, 019	7, 033	11, 052	24	36.4	0. 2	4, 172	7, 261	11, 433	27	36. 5	0.2	8, 191	14, 294	22, 485	51	36. 4	0. 2		

交通量調査結果(泉大津基地) [令和3年8月分]

調査地点: No. B

調查日時: 令和3年8月23日

調宜日	調査日時:令和3年8月23日																	
			比方面		助松JCT方面							合 計						
時刻	交通量(台/時)			大型車	廃棄物	交通量(台/時)			大型車	上型		交通量(台/時)				廃棄物		
	大型車 類	小型車 類	#	廃棄物 輸送車	混入率(%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	1	廃棄物 輸送車	八至年 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	1	廃棄物 輸送車	大型車 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)
08:00	115	144	259	1	44.4	0. 4	126	684	810	0	15.6	0.0	241	828	1,069	1	22.5	0.1
09:00	204	144	348	0	58.6	0.0	168	276	444	0	37.8	0.0	372	420	792	0	47.0	0.0
10:00	193	144	337	1	57.3	0. 3	276	162	438	0	63.0	0.0	469	306	775	1	60.5	0.1
11:00	192	156	348	0	55. 2	0.0	252	180	432	0	58.3	0.0	444	336	780	0	56.9	0.0
12:00	168	132	300	0	56.0	0.0	259	168	427	1	60.7	0. 2	427	300	727	1	58.7	0.1
13:00	174	150	324	0	53.7	0.0	192	180	372	0	51.6	0.0	366	330	696	0	52.6	0.0
14:00	162	240	402	0	40.3	0.0	240	156	396	0	60.6	0.0	402	396	798	0	50.4	0.0
15:00	198	180	378	0	52.4	0.0	210	162	372	0	56.5	0.0	408	342	750	0	54.4	0.0
16:00	180	264	444	0	40.5	0.0	102	168	270	0	37.8	0.0	282	432	714	0	39.5	0.0
17:00	162	324	486	0	33. 3	0.0	156	228	384	0	40.6	0.0	318	552	870	0	36.6	0.0
8: 00 ~ 18: 00	1,748	1, 878	3, 626	2	48. 2	0. 1	1, 981	2, 364	4, 345	1	45.6	0.0	3, 729	4, 242	7, 971	3	46.8	0.0

交通量調査結果(泉大津基地) [令和3年8月分]

調査地点: No. C

調査日時:令和3年8月23日

ре л <u>н.</u> н.	付: 77			クス方	丽				泉大	津方面			合 計					
				7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	ш			L / = =		十万四		I	13					
時刻	3	を通量	(台/時)	ı	大型車	廃棄物	2	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物	2	全通量	通量(台/時)		大型車	廃棄物
	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	混入率 (%)		大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	化八平	輸送車 混入率 (%)
08:00	36	90	126	0	28.6	0.0	24	18	42	0	57. 1	0.0	60	108	168	0	35. 7	0.0
09:00	18	138	156	0	11.5	0.0	72	48	120	0	60.0	0.0	90	186	276	0	32.6	0.0
10:00	90	66	156	0	57.7	0.0	126	66	192	0	65.6	0.0	216	132	348	0	62.1	0.0
11:00	66	108	174	0	37. 9	0.0	72	30	102	0	70.6	0.0	138	138	276	0	50.0	0.0
12:00	36	36	72	0	50.0	0.0	66	84	150	0	44. 0	0.0	102	120	222	0	45.9	0.0
13:00	96	54	150	0	64.0	0.0	54	48	102	0	52.9	0.0	150	102	252	0	59. 5	0.0
14:00	24	78	102	0	23. 5	0.0	72	72	144	0	50.0	0.0	96	150	246	0	39.0	0.0
15:00	72	42	114	0	63. 2	0.0	54	60	114	0	47.4	0.0	126	102	228	0	55. 3	0.0
16:00	37	60	97	1	38. 1	1.0	61	42	103	1	59. 2	1.0	98	102	200	2	49.0	1.0
17:00	36	48	84	0	42.9	0.0	18	192	210	0	8.6	0.0	54	240	294	0	18. 4	0.0
8: 00 ~ 18: 00	511	720	1, 231	1	41.5	0.1	619	660	1, 279	1	48. 4	0. 1	1, 130	1, 380	2, 510	2	45.0	0.1

悪臭調査結果(大阪基地)[令和3年8月分]

測定日:令和3年8月24日

	\		調了	上 地点	No.5 (風上)	No.6 (風下)
調査	項目				110.3 ()=(1.)	10.0 ()型([*]
		天候	(当日	1/前日)	曇/曇	曇/曇
		気	温	(\mathcal{C})	29.0	30. 4
気	象	湿	度	(%)	94	94
		風	向		南西	calm
		風	速	(m/s)	0.6	<0.4
	臭	気	強	度	0	0
	臭	気 き	指	数	<10	<10
	臭			質	無臭	無臭

悪臭調査結果(堺基地)[令和3年8月分]

測定日:令和3年8月24日

		1937-1	7 7 1 3 千 6 万 2 4 日
調査項目	調査地点	No.5 (風下)	No.6 (風上)
	天候(当日/前日)	曇/曇	曇/曇
	気 温(℃)	28.0	28. 7
気 象	湿 度(%)	82	77
	風 向	西北西	西南西
	風 速 (m/s)	1.4	0.6
臭	気 強 度	0	0
臭	気 指 数	<10	<10
臭	質	無臭	無臭

悪臭調査結果(泉大津基地)[令和3年8月分]

測定日:令和3年8月23日

調査項目	調査地点	D1 (風上)	D2 (風下)
	天侯(当日/前日)	曇/曇後雨	曇/曇後雨
	気 温(℃)	27.7	32.6
気 象	湿 度(%)	87	65
	風 向	南西	北西
	風 速 (m/s)	1.3	0.9
臭	気 強 度	0	0
臭	気 指 数	<10	<10
臭	質	無臭	無臭